

1491

作戰要務令 第三部

老第ノ二号
十一年四月十七日迄

1492

軍令陸第十九號
作 戰 要 務 令

1493

作戰要務令第三部目次

第一篇 輸送	一頁
通則	一
第一章 鐵道	八
要則	八
第一節 鐵道輸送	九
要旨	九
第一款 乘(下)車	九
第二款 輸送中ノ動作	一〇
第三款 給養及衛生	二
第二節 戰場ニ於ケル鐵道ノ利用	三
第三節 鐵道ノ掩護及遮斷	五

目次

1494

目次

二

第二章 船舶	六
第一節 船舶輸送	六
要旨	六
第一款 乗船、上陸	三
第二款 船内ノ動作	四
第三款 給養及衛生	四
第二節 河川、湖沼等ノ利用	四
第三章 自動車	四
要則	四
第一節 輸送準備	五
第二節 輸送實施	五
第四章 飛行機	五
第二篇 補給及給養	五

1495

1496

通則	五
第一章 兵器ノ補給	五
要則	五
第一節 彈藥ノ補給	六
第二節 燃料ノ補給	七
第三節 其ノ他ノ兵器ノ補給	七
第二章 給養及給養諸品ノ補給	七
第三章 被服其ノ他ノ資材ノ補給	八
第四章 行李ノ行動	八
第三篇 衛生	八
第一章 人衛生	八
要則	八
第一節 衛生機關	九

目次

三

1496

1496

目次

四

第二節 駐軍間ノ勤務	二五
第三節 行軍間ノ勤務	二六
第四節 戦闘間ノ勤務	二七
第二章 馬衛生	二八
要 則	二八
第一節 馬衛生機關	二九
第二節 駐軍間ノ勤務	三〇
第三節 行軍間ノ勤務	三一
第四節 戦闘間ノ勤務	三二
第四篇 兵 站	三三
第五篇 戰場掃除	三四
第六篇 氣 象	三五
第七篇 憲 兵	三六

1497

目次

五

第八篇 宣傳ノ實施及防衛	三三
通則	三三
第一章 宣傳ノ實施	三七
第二章 宣傳ノ防衛	三七
第九篇 陣中日誌及留守日誌	四一

1498

7903

作戦要務令第三部目次

終

目次

六

作戰要務令第三部

第一篇 輸送

通則

第一 輸送ハ軍ノ集中、移動、補給等用兵上極メテ重要ニシテ鐵道、船舶、自動車、動物、飛行機等ニ依ル

鐵道及船舶ハ輸送力大ニシテ大軍ノ運用ハ之ニ待ツ所最モ大ナリ自動車及動物ハ主トシテ戰場ニ於テ又飛行機ハ急ヲ要スル輸送ニ於テ各、其ノ特性ヲ發揮ス

第二 戰時軍隊ノ輸送ハ複雑ニシテ上空、地上及海上ヨリスル各種ノ妨害ヲ排シ極寒若クハ酷熱ヲ制シ給養ノ粗惡ヲ忍ビテ連續長時日ニ互リ實施セザルベカラズ故ニ軍隊ハ戰時輸送ノ特質ヲ理解シ輸送ノ計畫、處理又ハ實

輸送 通則

施ニ任ズル機關ノ職域ヲ尊重シ此等機關トノ連絡ヲ密ニシ軍紀ヲ嚴守シ克ク困苦ニ堪ヘ以テ輸送實施ヲ整齊確實ナラシムルコト緊要ナリ

第三 戰時鐵道及船舶輸送ヲ要スルトキハ所要ノ輸送機關ヲ軍ニ於テ徵用シ或ハ管理シ又ハ輸送力ヲ供用セシム

第四 鐵道業務ハ野戰鐵道司令部、鐵道監部、鐵道輸送司令部、停車場司令部及此等ノ支部之ニ任ズ此等ヲ軍事鐵道機關ト稱ス

野戰鐵道司令部ハ外地ニ於ケル鐵道業務ヲ、鐵道監部ハ戰場若クハ其ノ附近ニ於ケル鐵道業務ヲ、鐵道輸送司令部ハ通常内地ニ於ケル鐵道業務ヲ實施シ各、鐵道輸送ニ關シ計畫、處理ニ任ズ

停車場司令部ハ某停車場若クハ某地域ニ在ル隣接數停車場ニ於ケル人馬、材料荷物ヲ含ムノ搭載、卸下ニ關シ所要ノ事項ヲ規定シ且之ヲ指導監督ニ任ジ又通常輸送中ノ給養ヲ擔任ス

野戰鐵道司令官、鐵道監、鐵道輸送司令官及此等ノ設ケタル支部長ハ輸送

1501

ノ計畫、處理ノ爲必要ノ件ニ關シ又停車場司令官及同支部長ハ當該停車場ニ於ケル乗(下)車若クハ給養ニ關シ乗車部隊ヲ區處ス
 狀況ニ依リ鐵道隊ヲシテ戰線ニ近キ鐵道業務ヲ擔任セシムルコトアリ
 第五 船舶輸送ノ爲海運基地、海運主地及海運補助地ヲ設ク
 海運基地ハ軍事輸送上樞要ナル内地港灣ニ之ヲ設ケ通常船舶輸送ノ策源地ト爲シ海運主地ハ外地主要ノ港灣ニ之ヲ設ケ通常船舶輸送ノ端末ニ於ケル中樞地ト爲ス而シテ海運補助地ハ海運基地又ハ同主地以外ニ於テ必要ナル港灣ニ之ヲ設ク
 第六 船舶業務ハ船舶輸送司令部、碇泊場監部、碇泊場司令部及此等ノ支部之ニ任ズ此等ヲ軍事船舶機關ト稱ス
 船舶輸送司令部ハ通常海運基地ニ設置セラレ船舶輸送ノ計畫其ノ他海運策源地ノ諸業務ニ任ズ
 碇泊場監部ハ通常同一方面ニ位置スル數箇ノ碇泊場司令部ヲ統轄スル爲之

輸送
通則

三

1502

輸送 通則

四

ヲ設置ス
船舶輸送司令部支部、碇泊場司令部ハ海運主地又ハ海運補助地ニ、碇泊場司令部支部ハ海運補助地ニ設置セラルルヲ通常トシ當該海運地ニ於ケル船舶業務ヲ實施ス
碇泊場監部及碇泊場司令部ハ時トシテ一部ノ輸送船ヲ管轄シ局地ニ於ケル船舶輸送ノ計畫ニ任ズルコトアリ
軍事船舶機關ノ長ハ輸送ノ實施上必要ナル件ニ關シ乗船舶隊ヲ區處ス大ナル河川ヲ利用スル船舶業務ハ前諸項ニ準ズ
第七 鐵道又ハ船舶輸送ヲ要スル軍隊ハ通常輸送請求表ヲ軍事鐵道機關又ハ軍事船舶機關ニ提出スルモノトス該機關ハ之ニ依リ輸送計畫ヲ策定シ所要ニ應ジ關係輸送機關ニ之ガ實施ヲ命令若クハ要求スルト共ニ乗車又ハ乗船舶隊ニハ輸送ニ關シ通常輸送計畫表ヲ以テ指示スルモノトス
時トシテ軍隊自ラ輸送計畫ヲ作為スルコトアリ

1503

1503

輸送 通則

五

第八 鐵道及船舶輸送ノ請求ハ輸送計畫策定ノ基礎ヲ爲スヲ以テ正確ニシテ機ヲ失セザルコト必要ナリ特殊材料等輸送計畫上特ニ考慮ヲ要スルモノアルトキハ其ノ種類、尺度、重量等ヲ明瞭ナラシムルヲ要ス

輸送請求表ハ通常順序ヲ經テ提出シ之ガ重複ヲ避クルト共ニ提出後變更アリタルトキハ其ノ都度訂正スルモノトス

第九 鐵道及船舶輸送ニ在リテハ通常軍用輸送券ヲ以テ輸送ノ證據トス軍用輸送券ハ輸送ノ計畫ニ任ズル軍事鐵道機關又ハ乘船(搭載)地ニ於ケル軍事船舶機關ノ長之ヲ發行シ輸送指揮官又ハ船長ニ交付ス時トシテ軍隊自ラ之ヲ發行スルコトアリ

軍隊若シ交通列車ニ一般貨客ト混乗スル場合ニ於テハ軍用輸送券ニ依ルコトナク鐵道乘車證、鐵道乘車後拂證ヲ以テシ又ハ臨機定ムル規定ニ據ル

第十 各列車又ハ各輸送船ニ於ケル乘車若クハ乘船部隊ノ高級先任ノ將校(各部將校ヲ長トスル部隊ノミヲ輸送スル場合ニ於テハ高級先任ノ各部將

1504

1504

輸送規則

六

校ハ之ヲ輸送指揮官トス但シ將官ハ要スレバ他ノ將校ヲシテ此ノ任ニ當ラシムルコトヲ得
輸送指揮官ハ乗(下)車又ハ乗船及上陸ノ指揮、輸送中ノ警備等ニ任ジ給養ニ關スル事項ヲ區處ス而シテ軍紀ノ維持、諸法則ノ實施等ハ各部隊長ノ責任トス

輸送指揮官ハ特ニ規定セラレタル場合ノ外列車又ハ輸送船ノ發着及運行ニ干涉シ得ザルモノトス

第十一 大部隊ノ鐵道又ハ船舶輸送ニ在リテハ高級指揮官ハ成ルベク乗車又ハ乗船二日前迄ニ所要ノ人員ヲ乗車地又ハ乗船地ニ先遣シテ乗車又ハ乗船等ニ關シ軍事鐵道機關又ハ軍事船舶機關ト必要ノ協定ヲ爲シ之ニ基キ逐次到着スル部隊ニ乗車又ハ乗船ノ爲ノ區分、日時及集合、船内ノ偵察、給養、警戒、勤務等ニ關シ所要ノ指示ヲ爲サシム
小部隊ノ輸送ニ在リテモ所要ニ應ジ前項ニ準ジ處置ス

下車又ハ上陸ニ方リテモ前諸項ニ準ズ

第十二 鐵道及船舶業務ハ極メテ複雑ニシテ一局部ノ故障ト雖モ累ヲ全局ニ及スコト多キニ鑑ミ軍隊ハ計畫及規定ヲ守リ發車又ハ出港ヲ遅延セシメ或ハ之ヲ遅延セシムルガ如キ請求ヲ爲スベカラズ

第十三 重要ナル停車場、海運地等ノ警戒特ニ防空ノ爲ニハ特定ノ部隊ヲ配置セラルルヲ通常トス乗車又ハ船舶部隊ハ此等ノ處置ヲ講ゼラレアル場合ニ於テモ要スレバ更ニ所要ノ處置ヲ講ズ

停車場及海運地ノ直接警戒、軍機保護等ノ爲ニハ通常衛兵ヲ配置ス衛兵ハ最寄軍隊若クハ乗車又ハ船舶部隊ヨリ之ヲ派遣シ停車場司令官又ハ碇泊場司令官ノ指揮ヲ受ケシムルモノトス

不時ノ事變ニ際シ又ハ前諸項ノ目的ノ爲軍事鐵道機關又ハ軍事船舶機關ヨリ援助ノ請求ヲ受ケタル軍隊ハ任務ノ許ス限り之ニ應ズベキモノトス

第十四 輸送機關ハ敵飛行機ノ攻撃目標トナリ又船舶ニ在リテハ敵艦艇特

輸送
通則

1902

1902

輸送 鐵道

八

ニ潜水艦ノ襲撃ヲ受クルノ虞アルヲ以テ此等ニ對スル自衛ノ手段ヲ整フルノ外經路、時期、行動、隊形等ノ選擇ヲ適切ニシ且爲シ得レバ偽裝或ハ陽動ヲ行フ等秘匿ノ手段ヲ講ズルコト緊要ナリ

第十五 輸送請求及輸送計畫中ニハ軍隊ノ企圖、兵種、兵力等軍機ニ互ル事項多キヲ以テ此等ニ關聯セル書類等ニシテ苟モ機密探知ノ資料タルベキモノノ取扱ニ關シテハ特ニ注意スルヲ要ス

第一章 鐵道

要則

第十六 鐵道ハ軍作戰ノ基線トシテ戰略上重大ナル意義ヲ有スルノミナラズ戰場附近ニ在ル鐵道ハ戰線ニ於ケル兵力移動及直接戰闘ニ利用セラレ戰術的價值ヲ發揮スルモノトス而シテ鐵道ノ利用ニ方リテハ局部ノ利便ニ囚レ大局ヲ誤ルコトナキヲ要ス

1507

1208

第一節 鐵道輸送

要旨

第十七 鐵道輸送ハ通常軍用列車ニ依ルモ時トシテ交通列車ノ一部ヲ利用
スルコトアリ

第十八 軍用列車ノ組成ハ輸送ノ目的、乗車部隊ノ種類、鐵道ノ能力等ニ
依リ異ナルモ成ルベク輸送力ヲ最大限ニ利用シ且勉メテ乗車部隊ノ建制ヲ
保持スル如ク定ムルヲ通常トス然レドモ輸送能率ヲ大ナラシムル爲概ネ兵
種ニ應ジ列車ノ組成ヲ一定シ之ニ部隊ヲ配當スルコトアリ

第一款 乘(下)車

第十九 軍隊ハ停車場司令官ノ定ムル乘(下)車ニ關スル規定及同官ト協定
セル所ニ從ヒ自ラ乘(下)車ヲ行フモノトス

輸送 鐵道

九

1508

輸送 鐵道

停車場司令部ヲ設置セラレザル停車場ニ於テハ當該驛長ト協定シテ乘(下)車ヲ行フモノトス

第二十 輸送指揮官(止ムヲ得ザレバ其ノ代理者)ハ所要ノ人員ヲ伴ヒ乗車地ニ先行シ乗車スベキ人馬、材料ノ正確ナル數量ヲ停車場司令部ニ通報シ該司令官ヨリ所要ノ件ヲ承知シ列車及停車場内外ヲ偵察シタル後適時乗車ニ關スル命令ヲ下ス

輸送指揮官ノ下ス乗車ニ關スル命令ニ於テ示スベキ事項概ネ左ノ如シ

乗車部隊、乗車區分

搭載開始及終了ノ時刻

軍隊ノ集會場、馬繋場、砲(車)廠、材料集積場

集合法、集會時刻

乗降場、積卸場及通路ノ使用區分

搭載法、搭載材料ノ配當

6051

1230

輸送 鐵道

勤務員及衛兵ノ割出、差出時刻及地點
 列車内ニ於ケル連絡法
 輸送中ノ警戒部署
 輸送中ノ給養及衛生
 危險豫防及軍機保護上ノ注意
 輸送指揮官ノ位置等
 輸送指揮官ハ軍隊停車場ニ到着シタルトキ及乗車ニ方リ準備セル車輛ニ剩
 餘ヲ生ジタルトキハ速カニ之ヲ停車場司令官ニ通報スルヲ要ス
 輸送指揮官ハ軍用輸送券ニ所要ノ記入ヲ爲シ之ヲ停車場司令官ニ提出ス
 第二十一 輸送指揮官ハ停車場司令官ノ指示スル列車組成ニ基キ乗車部
 隊、輸送中ノ警戒等ヲ考慮シ乗車區分ヲ決定ス
 輸送指揮官ハ乗車ノ爲通常人員、馬、材料毎ニ將校止ムヲ得ザレバ下士官
 ヲ長トスル搭載掛リ所要ノ勤務員ヨリ成スヲ設ク

一一

1510

1203

輸送 鐵道

一二

各搭載掛ハ輸送指揮官ノ命令ニ基キ細部ノ搭載法ヲ定メ之ガ實施ヲ擔任ス

卸下ニ關シテハ第二、第三項ニ準ズ

第二十二 乗車部隊ヲ乗降場及積卸場ニ入ラシムベキ時期ハ主トシテ乗車及乗車後ノ列車出發準備ニ要スル時間ノ長短ニ依リ差異アリ

軍用列車ノ乗車ニ要スル時間ハ部隊ノ編制裝備特ニ馬ノ數、材料ノ多寡及種類、乗降場及積卸場ノ景況、搭載用材料等ニ依リ異ナルモ全車輛ヲ連置シ既設乗降場又ハ積卸場ヲ利用シ各車同時ニ搭載スル場合ニ於テハ乗車準備完了後概ネ左ノ時間内ニ搭載ヲ終了スルヲ要ス但シ重量又ハ形狀大ナル特殊ノ材料ノ搭載若クハ夜暗ニ在リテハ更ニ時間ヲ要ス

人員

三十分

馬

一時間

車輛類

一時間

分解セル車輛其ノ他ノ材料

一時間三十分

乗車部隊ハ其ノ乗車ノ準備ヲ周到適切ニシ乗車時間ノ短縮ニ勉ムルヲ要ス
第二十三 各搭載掛ハ人馬、材料ヲ搭載位置ニ誘導シ其ノ配當車輛ニ應ジ
 テ適當ノ位置ニ排列シ同時若クハ逐次ニ搭載ス此ノ際要スレバ客車ノ階段
 又ハ貨車ノ床板ニ乗車區分ヲ標記ス但シ到著地、乗車部隊、材料等ヲ探知
 シ得ルガ如キ標記ヲ爲スベカラズ
第二十四 輸送指揮官ハ輸送中警戒ノ爲地上ノ敵ニ對スル警戒兵及對空監
 視哨ヲ設ケ且對空射撃部隊、要スレバ下車射撃部隊、消毒ニ任ズル部隊等
 ヲ部署シ又列車内必要ノ指揮官トノ間ノ連絡施設ヲ整フルコト必要ナリ
第二十五 輸送指揮官ハ所要ノ將校ヲ指定シ之ニ車輛ヲ配當シ輸送中之ガ
 監視ニ任ゼシム該將校ハ自ラ所要ノ監視ヲ爲スノ外各車毎ニ通常高級先任
 者ヲシテ直接其ノ取締ヲ爲サシメ且下士官、兵ヲシテ各自ノ乗車セル車輛
 ヲ記憶セシム
第二十六 人馬、材料ノ搭載ハ概ネ左ノ要領ニ依ル

- 一、搭載ニ方リテハ車輛ノ搭載力ヲ遺憾ナク利用シ使用車輛數ノ節減ニ勉ムルヲ要ス
規定積載量ヲ超過シテ搭載セントスル場合ニ於テハ停車場司令官ノ指示ヲ受クルモノトス
 - 二、彈藥、揮發油其ノ他危險品ハ勉メテ之ヲ有蓋貨車ニ搭載スルヲ要ス而シテ彈藥其ノ他危險品ニ在リテハ積載量ヲ制限スルコトアリ
 - 三、車輛類ハ通常其ノ儘搭載ス然レドモ前、後車ハ之ヲ分離シ又輾桿等ハ離脱スルヲ通常トス而シテ車輛ハ卸下ニ支障ナキ範圍ニ於テ勉メテ之ヲ密接シテ空隙ヲ減少シ且搭載後木材、麻繩等ニテ相互ニ結著シ又木楔ヲ貨車ニ釘著シテ其ノ轉動ヲ防グヲ要ス而シテ空隙ニハ通常當該車輛ノ附屬品、監視兵ノ裝具並ニ急造斜板、鐵道搭卸具等ヲ搭載ス
- 輾重車ハ狀況之ヲ許セバ車輪ト車體トニ分解シテ搭載ス
自動車類ハ頭端積卸場貨車ノ縱軸方向ヨリ搭載又ハ卸下シ得ル如クセルモノヲ利用シ若クハ貨車ノ

一、側ヨリ搭載ス又自動車ハ貨車ニ輻ニ跨ガリ搭載スルコトアリ
 四、火災ノ虞アル物品ヲ搭載セル無蓋貨車ニハ覆ヲ施シ要スレバ束藁ヲ
 浸シタル水桶ヲ備ヘテ監視兵ヲ配置シ火災ヲ防グ又蓋貨車ニ在リテ
 モ車扉其ノ他ニ空隙アルトキハ火災ヲ起スノ虞アルニ注意スルヲ要ス
 五、馬ハ通常有蓋貨車ニ搭載ス狀況ニ依リ設備セル無蓋貨車ニ搭載スル
 コトアリ此ノ場合ニ於テハ特ニ火災豫防ニ注意ス
 六、馬ハ貨車ノ大小及型式ニ依リ馬體ヲ列車ノ行進方向ト直角若クハ平
 行ナラシムル如ク搭載シ各車ニ監視兵ヲ配置ス其ノ人員ハ通常四輪車
 ニ在リテハ三名以下、「ボギー」車ニ在リテハ五名以下トス而シテ極寒
 時ニ在リテハ監視兵ノ交代時間ヲ適切ナラシムルニ注意ス
 七、馬ノ搭載ニ方リテハ豫メ貨車ノ換氣窓ヲ全開シ置キ鞍ヲ卸シ挽具ヲ
 解キ勒ヲ銜マシメ貨車ノ入口ニ踏板ヲ架シ反對側ノ車扉ヲ閉鎖シ成ル
 ベク馬ヲ驚怖セシメザル如ク車内ニ牽入レテ繋ギ全部ノ搭載終ルヤ馬

栓棒、胸板又ハ張綱ヲ裝ス次デ輸送中使用スベキ馬糞、麥袋、水囊、馬具、監視兵ノ携帶品等ヲ餘積ニ搭載シ馬沈靜スルヤ徐ロニ轡ヲ緩メ兩側扉ヲ全開又ハ半開ス但シ開閉部ニハ必ズ駒止綱ヲ結著シ又劇動ニ依ル扉ノ急激ナル閉鎖ヲ豫防スル方法ヲ講ズルヲ要ス

八、馬ハ搭載前穀類ヲ減飼シテ干草ヲ多ク與ヘ若干ノ運動ヲ行ヒテ其ノ沈靜ヲ圖リ搭載直前ニハ水與ヲ行ヒ又體高大ナルカ若クハ騷擾スル馬ニ對シテハ要スレバ頂ノ保護法ヲ講ズ

馬ヲ搭載セル無蓋貨車ニハ輸送中必要ナル干草ヲ結束シテ備フルニ止メ藁ヲ置クヲ禁ズ又馬具ハ他ノ車輛ニ搭載シテ濕潤ヲ防グヲ可トス

九、馬ハ短時間ノ輸送又ハ下車後直チニ戰鬪ヲ豫期スル場合ニ於テハ要スレバ馬具ヲ裝シクル儘搭載スルコトヲ得但シ此ノ場合ニ於テハ搭載馬數ヲ適宜減少スルコト必要ナリ

長時間ノ輸送ニ在リテハ銜ヲ脱シ頭絡ノミヲ以テ繋グコトヲ得又極寒

1515

時ニ於テモ適時開扉シテ換氣スルヲ要ス
第二十七 下士官、兵ハ輸送指揮官若クハ搭載掛ノ下ス「乗車」ノ號令又ハ「前へ」ノ號音ニ依リ乗車ス
 搭載掛ハ乗車前車輛ノ種類及設備ニ應ジ各兵ノ占位順序、裝具ノ整頓法等ヲ示シ置クヲ可トス
 軍用列車ハ遅クモ發車五分钟前ニ搭載ヲ終了スルヲ要ス
第二十八 搭載終了スルヤ輸送指揮官ハ各車輛ノ搭載狀況ヲ點檢シタル後之ヲ停車場司令官ニ通報ス
第二十九 輸送指揮官ハ通常下車停車場ニ到着前適時下車準備ニ關シ命令ス然レドモ馬ノ繫索ハ解クトナク又材料ハ移動セシメザルモノトス
第三十 軍用列車下車停車場ニ到着セバ輸送指揮官ハ該地停車場司令官ノ規定ニ從ヒ下車ニ關スル命令ヲ下シ卸下掛ヲシテ其ノ業務ヲ實施セシム
 輸送指揮官ハ軍隊ヲシテ澁滞ナク下車シ且速力ニ停車場ヨリ退去セシムル

輸送 鐵道

一七

9151

1072

輸送 鐵道

一八

ヲ要ス大部隊ノ輸送ニ於テ特ニ然リ
 第三十一 下車ニ方リテハ輸送指揮官ハ先ヅ將校及勤務員ヲシテ下車シ共
 ノ配置ニ就カシメ次デ「下車」ノ號令又ハ「前へ」ノ號音ニテ下士官、兵ヲ下
 車セシム
 下車ニ要スル時間ハ卸下設備ニ依リ異ナルモ既設乗降場又ハ積卸場ヲ利用
 シ各車輛ヨリ同時ニ下車又ハ卸下スル場合ニ於テハ人員ノ下車及隊列ヲ整
 フル爲十乃至十五分、馬ノ爲十乃至二十分、材料ノ爲二十乃至四十分ヲ標
 準トス特殊ノ材料ノ卸下若クハ夜暗ニ在リテハ更ニ大ナル時間ヲ要ス
 馬ノ卸下ニ方リテハ其ノ貨車卸下位置ニ停車シタル後ニアラザレバ車扉ヲ
 開クベカラズ又反對ノ車扉ハ必ズ之ヲ閉鎖シアルヲ要ス
 馬ヲ卸下スルニハ先ヅ貨車ノ入口ニ踏板ヲ架シ車内ノ諸物品ヲ卸シ次デ馬
 栓棒、胸板又ハ張網ヲ除キタル後馬ヲ卸シ馬體検査ヲ行ヒ馬具ヲ裝シ乗馬
 ハ其ノ集合場ニ、輓、駄馬ハ繋駕又ハ駄載スベキ材料ノ所在地ニ之ヲ誘導

4151

1210

輸送 鐵道

シ勉メテ牽馬運動又ハ四肢ノ摩擦ヲ行フヲ可トス
 卸下終了スルヤ輸送指揮官ハ之ヲ停車場司令官ニ通報スルモノトス
 卸下シタル車輛類其ノ他ノ材料ハ速カニ之ヲ適當ノ位置ニ移動搬出セシメ
 卸下場ヲ空虛ナラシムルコト必要ナリ
 第三十二 狀況ニ依リ豫定ノ下車停車場以外ニ於テ下車スルヲ要スルコト
 アリ此ノ場合ニ於テハ線路上ニ直チニ下車スベキヤ或ハ下車ノ爲線路ノ適
 當ナル部分又ハ最寄停車場迄進行若クハ退行スベキヤ等ハ輸送指揮官列車
 長^{上級車掌ヲ含ム以下同ジ}ノ意見ヲ參酌シテ自ラ之ヲ決スルモノトス此等ノ顧慮アル
 トキハ輸送指揮官ハ特ニ列車長トノ連絡ヲ緊密ナラシムルノ處置ヲ講ズル
 ト共ニ狀況ニ依リ將校若クハ下士官以下ヲ機關車ニ乗車セシメ或ハ機關車
 ノ前方ニ無蓋貨車ヲ連結シ之ニ警戒兵ヲ乗車セシムルノ外各車輛ニハ急造
 斜板又ハ鐵道搭卸具等ヲ準備セシムルヲ必要トス

一九

第二款 輸送中ノ動作

第三十三 輸送指揮官ハ停車中ノ所要ノ巡察ヲ派遣シテ勤務員ノ狀態、車内ノ整頓、材料ノ固定、人馬ノ狀態特ニ馬ノ水與、干草ノ給與、繫絆法其ノ他馬保護ノ適否等ヲ巡視セシムルコト必要ナリ

第三十四 輸送中ハ鐵道ノ規則ヲ守ルノ外干草、藁、彈藥、燃料類等火災或ハ爆發ノ虞アル物品若クハ馬ヲ搭載セル車内ニ於テハ喫煙シ或ハ安リニ點燈スベカラズ又馬積貨車内ノ燈火ニ注意スルヲ要ス

車軸ノ折損又ハ列車ノ分離、脱線、火災等ヲ發見シタル者ハ速カニ鐵道掛員ノ注意ヲ喚起スベキ手段ヲ講ズルヲ要ス

車窓外ニ赤布或ハ赤旗類ヲ出シ又ハ手腕ヲ振ルガ如キ動作ハ危險信號ト誤認セラルルノ虞アルヲ以テ安リニ之ヲ行フベカラズ

第三十五 軍用列車ニ在リテ乗車人員一般ノ途中下車ヲ許スハ十分以上停

8151

1213

1519

1519

車スル停車場ニ限ルモノトス之ガ爲輸送指揮官ハ軍用列車運轉時刻表ニ依
ルカ若クハ停車場司令官ニ就キ此等ノ停車場ヲ承知シ下車シ得ベキ停車場
ヲ豫メ乗車部隊ニ知ラシメ該停車場ニ到着セバ同地停車場司令官ニ就キ停
車時間ヲ確メ下車部隊ノ行動區域、乗車時刻等所要ノ事項ヲ指示シテ下車
セシメ要スレバ警戒兵ヲ配置シテ列車ノ直接警戒及下車兵員ノ行動ノ監視
ニ任ゼシム

其ノ他一部ノ途中下車ヲ許ス場合ニ於テモ亦前項ニ準ズ

第三款 給養及衛生

第三十六 輸送中ノ給養ハ軍事鐵道機關ノ定ムル給養停車場ニ於テ之ヲ行
ヒ當該停車場司令官若クハ特ニ設置セラレタル機關之ヲ擔任ス之ガ爲輸送
指揮官ハ通常乗車前又ハ輸送中停車場司令官ヲ經テ給養擔任機關ニ給養人
馬數及給養區分人員ニ在リテハ朝、晝、夕食、ヲ通報スルト共ニ給養實施後
馬ニ在リテハ飼與、水與ノ區分

輸送 鐵道

二一

右ニ對スル證票ヲ交付スルモノトス
前項ノ給養擔任機關ナキトキハ軍隊自ラ給養ノ處置ヲ講ズ之ガ爲通常所要
ノ人員ヲ先遣シテ準備セシム狀況ニ依リ列車内ニ於テ炊事スルコトアリ
第三十七 輸送中人員ノ給養ハ特ニ設備セル食堂ニ於テスルカ又ハ出發前
若クハ途中ノ停車場ニ於テ辨當ヲ支給シ車内ニ於テ食事セシム此ノ際特ニ
食中毒ノ豫防ニ注意スルヲ要ス

第三十八 輸送指揮官ハ衛生部員ヲ適宜分乗セシメ狀況ニ依リ休養車ヲ定
ムルコトアリ又輸送中下車療養ヲ要スル患者發生セバ最寄衛生機關ニ委託
シ最寄兵站地區司令部又ハ關係軍醫部等ニ通報スルモノトス

傳染病發生セル場合ニ於テハ速カニ最寄軍事鐵道機關ニ通報スルヲ要ス
第三十九 馬糞ハ通常出發ノ際若干ヲ携行セシメ其ノ他ハ途中ノ停車場ニ
於テ之ヲ支給ス而シテ飼與及水與ハ通常車内ニ於テ麥袋、水囊等ヲ以テ之
ヲ行フ

輸送中ハ飼料ノ配合ヲ適切ニシ水及干草ノ飼與ヲ勵行シ以テ馬ノ保健ヲ圖ルヲ要ス暑熱烈シキ季節ニ於テ特ニ然リ之ガ爲水桶等ヲ車内ニ準備スルヲ可トス

長時間ノ輸送ニ在リテハ將校以下馬衛生ニ注意スルコト特ニ緊要ナリ之ガ爲換氣、清潔及病馬ノ早期發見ニ注意スルト共ニ爲シ得ル限り四肢ヲ摩擦シ或ハ車内ニ於テ前進、後退等ノ運動ヲ行フコト必要ナリ下車前ニ於テ特ニ然リ又停車時間長キ場合ニ於テハ馬ヲ一時卸下シ牽馬運動ヲ課スルヲ可トス

第二節 戰場ニ於ケル鐵道ノ利用

第四十 戰場ニ於ケル鐵道ノ利用ニ方リテハ高級指揮官ハ良ク其ノ狀態ヲ明カニシ速カニ軍事鐵道機關又ハ鐵道隊等ニ行動ノ憑據ヲ與ヘ特ニ準備ノ餘裕ヲ得シムルヲ要ス

狀況急ヲ要シ準備ノ餘裕少キ場合ニ於テハ高級指揮官ハ速カニ輸送ノ時期、區間、數量等ノ概要ヲ軍事鐵道機關又ハ鐵道隊等ニ通報シ機ヲ失セズ輸送ノ準備ニ著手セシメ逐次之ヲ補正スルト共ニ軍隊ニ對シテハ乘車スベキ地點及時刻ヲ指示シテ其ノ集結ヲ圖リ到著スル軍隊ヲ逐次乘車出發セシムル如ク處置スルヲ要ス

戰場ニ於ケル鐵道ノ利用ニ方リテハ規定積載量ヲ超過セシムルコトアリ

第四十一 敵地ノ鐵道ヲ利用スルハ極メテ有利ナリ之ガ爲兵力ヲ以テ神速ニ占領シ或ハ其ノ後方ヲ遮斷シ以テ鐵道施設及資材ノ破壊、散逸ヲ防止シ從業員ノ逃避ヲ豫防スルト共ニ機ヲ失セズ之ガ修理及運轉ノ準備ヲ爲スコト緊要ナリ

第四十二 戰鬪ヲ豫期スル輸送ニ在リテハ通常警戒隊列車ト本隊列車トニ區分シテ集團運行ヲ行フモノトス而シテ搜索、警戒、連絡等ノ爲ニハ裝甲軌道車、裝甲列車、單行機關車等ヲ使用ス

1522

前項ノ場合其ノ他危險地域ニ於ケル輸送ニ方リテハ列車内ニ鐵道修理ニ要スル若干ノ人員及材料ヲ準備ス狀況ニ依リ修理列車及工作列車ヲ運行スルコトアリ

第四十三 追撃、退却ニ際シ鐵道ヲ利用シ得バ大ナル價值ヲ發揮スルモノトス而シテ追撃ニ方リテハ勉メテ敵ニ運行妨害ノ餘裕ヲ與ヘザル如クシ退却ニ方リテハ機ヲ失セズ之ヲ遮斷スルコト緊要ナリ

第三節 鐵道ノ掩護及遮斷

第四十四 鐵道ハ施設完全ニシテ始メテ能ク其ノ能力ヲ發揮シ得ベク而モ故障ノ復舊ニハ通常長時日ヲ要スルヲ以テ之ガ掩護ニ關シ深ク注意スルト共ニ之ヲ愛護スルコト緊要ナリ又常ニ敵ノ遮斷ニ對シ復舊ノ準備ニ缺クル所ナキヲ要ス

第四十五 鐵道掩護ニ使用スル部隊ノ兵力、編組ハ鐵道ノ要度、施設ノ狀

1524

1523

輸送 鐵道

二六

態の危険ノ大小等ニ依リ異ナルモ通常歩兵及防空機關ヲ主トシ狀況ニ依リ之ニ裝甲列車、裝甲軌道車、應急列車、修理列車其ノ他必要ノ部隊ヲ加フ鐵道ノ近傍ニ在ル軍隊ハ任務ノ遂行ニ支障ナキ限リ我方軍ノ使用シアル鐵道及將來使用スベキ鐵道ノ掩護ニ任ズベキモノトス

第四十六 鐵道掩護ノ要領ハ狀況ニ依リ異ナルモ之ニ任ズル部隊ハ小ナル兵力ヲ以テ長延ナル區域ヲ擔任スルヲ通常トス故ニ主要ナル停車場、橋梁、隧道、給水設備等ノ重要施設ニハ所要ノ兵力ヲ直接配置シ地上及上空ニ對シ掩護シ爾餘ノ兵力ヲ要地ニ配置スルヲ可トス此ノ際輸送ノ狀況、鐵道施設ノ配置及狀態、鐵道機關ノ行フ自衛等ニ關シ軍事鐵道機關ト密ニ連絡シ此等ヲ詳カニスルノ外所要ノ列車等ヲ準備シ且搜索及諜報機關ノ活用ニ勉ムルコト緊要ナリ

裝甲列車、裝甲軌道車、應急列車、修理列車等ノ運行ニ關シテハ豫メ軍事鐵道機關ト協定スルヲ要ス

1525

1525

第四十七 機ニ應ジテ敵ノ鐵道ヲ遮斷シ其ノ運行ヲ妨害スルハ作戰上ノ價
 値極メテ大ナリ。鐵道ノ遮斷ハ破壞ニ依ルヲ通常トス而シテ長時日ニ互リ敵ノ鐵道ヲ遮斷ス
 ル爲ニハ勉メテ大ナル破壞ヲ數箇所ニ於テ實施ス狀況ニ依リ小ナル破壞ヲ
 數次ニ互リ各所ニ反復實施スルヲ有利トスルコトアリ時トシテ大ナル距離
 ニ互リ徹底的ニ鐵道ヲ破壞ス

第四十八 戰場附近ニ於ケル鐵道ノ大ナル破壞ハ獨立シテ作戰スル師團長
 以上ノ命令ニ依リ之ヲ行フモノトス

數時間又ハ二日間ノ運行ヲ遮斷スルニ過ギザル小ナル破壞ハ前項ノ指
 揮官ヨリ下級ノ指揮官之ヲ決行スルコトヲ得但シ之ヲ實施シタル地點、
 日時、方法及程度ハ速カニ所屬指揮官ニ報告スルヲ要ス
 我方軍ニ屬スル鐵道ヲ破壞スル場合ニ於テモ前諸項ニ準ズ
 第四十九 鐵道ノ破壞ハ爆破、爆撃、燒夷、毀壞等ノ方法ニ依ル此ノ際各

輸送 鐵道

二七

1526

種鐵道徹工物、輪轉材料、通信施設、給水設備等ヲモ併セ破壊スルヲ有利トス。又、給水設備等ノ破壊ハ輕易ナル方法ニ依リ屢々大ナル效果ヲ收メ通信施設、給水設備等ノ破壊ハ輕易ナル方法ニ依リ屢々大ナル效果ヲ收メ得ルモノトス。又、給水設備等ノ破壊ハ輕易ナル方法ニ依リ屢々大ナル效果ヲ收メ鐵道ノ一時的遮斷ノ爲ニハ機關車若クハ列車ヲ衝突セシムル等ノ方法ニ依リ線路ヲ阻塞スルヲ有利トスルコトアリ。

第二章 船舶

第一節 船舶輸送

要旨

第五十條 船舶輸送ハ輸送ノ目的、海上危險ノ度、航路、上陸地ノ狀態等ニ依リ其ノ實施ノ方法ヲ異ニスルモ危險海面ノ航行ニ方リテハ船隊ヲ以テ海軍護衛ノ下ニ行フヲ通常トス。

第五十一 船舶輸送ハ氣象及季節ノ交感、敵ノ妨害等豫期セザル幾多ノ障礙ヲ受ケ輸送計畫ニ大ナル齟齬ヲ來スコト屢、ナルベキヲ以テ之ガ計畫ニハ所要ノ彈力性ヲ保有セシムルト共ニ軍事船舶機關及軍隊ハ準備ヲ周到ニシ萬難ヲ排シ所期ノ目的ヲ達スル如ク勉メザルベカラズ。

第五十二 乘船區分ハ輸送ノ目的、輸送船ノ性能特ニ搭載力、通信裝備、部隊ノ建制、海上ノ狀況、上陸地ノ景況等ヲ考慮シ通常輸送計畫ニ任ズル軍事船舶機關ノ長之ヲ定ム而シテ敵前上陸ヲ企圖スル場合ニ於テハ乘船區分ヲシテ上陸部署ニ合致セシムルコト緊要ナリ。

船内ニ於ケル軍紀ノ維持及内務ノ實行ヲ容易ナラシムル爲一輸送船ニ建制部隊ヲ乗船セシムルヲ得バ有利ナリ然レドモ特ニ迅速ニ上陸スルヲ要スル部隊ハ一船舶ノ損害ニ依リ全局ニ影響ヲ及スガ如キ部隊等ハ適宜數船ニ分乗セシムルヲ要ス。

船腹ヲ遺憾ナク利用スル爲部隊ヲ分割シ數船ニ分乗セシムルコトアリ。

1528

1528

輸送 船舶

三〇

第五十三 船舶輸送ニ於ケル通信連絡ハ極メテ緊要ナリ敵前上陸ヲ企圖スル場合ニ於テ特ニ然リ而シテ海上ニ於ケル通信連絡ハ陸上ニ比シ遙カニ困難ナルヲ以テ豫メ計畫ヲ周密ニシ實施ニ遺漏ナキヲ要ス又無線ハ勉メテ之ヲ制限シ要スレバ禁止シ以テ我が行動ヲ秘匿スルノ著意ヲ必要トス

第五十四 輸送船舶ト關係艦船トノ連絡、船長ノ業務實行及船員其ノ他乗組員ノ勤務ノ監督ニ任ゼシムル爲一名ノ監督將校輸送船ニ乗組マシメラルヲ通常トス

第五十五 輸送船舶自衛ノ爲砲兵部隊又輸送船相互及海運地ト輸送船トノ通信連絡ニ任ズル爲通信部隊乗船セシメラルコトアリ此等ノ部隊ハ對敵、保安上必要ナル警戒及内務ニ關シ輸送指揮官ノ區處ヲ受ケシムルヲ通常トス但シ砲兵部隊ニ在リテハ狀況ニ依リ輸送指揮官ノ指揮ヲ受ケシムルコトアリ

1529

第一款 乗船、上陸

第五十六 軍隊ハ碇泊場司令官ノ定ムル乗船又ハ上陸ニ關スル規定及同官ト協定セル所ニ從ヒ自ラ乗船又ハ上陸ヲ行フモノトス

第五十七 輸送指揮官(止ムヲ得ザレバ其ノ代理者)ハ所要ノ人員(爲シ得レバ豫定勤務員)ヲ伴ヒ乗船地ニ先行シ輸送人馬材料明細表ヲ以テ乗船スベキ人馬、材料ノ數量ヲ碇泊場司令官ニ通報シ該司令官ヨリ乗船ニ關スル規定、警戒ニ關スル事項等ヲ承知シ碇泊場司令部職員及船員ト共ニ乗船場及輸送船内ヲ偵察シタル後適時乗船ニ關スル命令ヲ下ス

輸送指揮官ノ下ス乗船ニ關スル命令ニ於テ示スベキ事項概ネ左ノ如シ

輸送船名

乗船部隊、船内搭載區分

搭載開始及終了ノ時刻

三一

1530

1230

輸送、船舶

三二

軍隊ノ集合場、馬繋場、砲(車)廠、材料集積場

集合法、集合時刻

棧橋(岸壁)及交通路ノ使用區分

搭載要領(搭載順序、舟艇ノ配當、各舟艇ノ乗組又ハ搭載區分、舟艇接

著舷、舟艇ノ運行)

勤務員及衛兵ノ割出、差出時刻及地點

搭載中ニ於ケル陸上ト輸送船トノ連絡法

船内ノ給養及衛生

危険豫防及救助ニ關スル事項

輸送指揮官ノ位置及其ノ乗船時期等

第五十八 勤務員ハ舟艇ノ種類、數及搭載量、乗船場、輸送船内ノ狀況等

ニ應ズル如ク人員、馬、材料毎ニ通常將校止ムヲ得ザレバ下士官ヲ長トス

ル搭載掛員ヨリ成ルヲ設ケ要ズレバ人馬ノ救護掛ヲ置ク

1531

輸送 船舶

三三

各搭載掛ハ輸送指揮官ノ命令ニ基キ通常陸上、舟艇及輸送船内（人員掛ニ在リテハ陸上及輸送船内）ニ分レテ勤務シ且所定ノ標識ヲ附ス

第五十九 船内搭載區分ハ乗船部隊ノ上陸時ニ於ケル任務、行動、上陸順序、船内ノ警戒配備等ヲ基礎トシ輸送船ノ構造及設備等ヲ考慮シ整齊迅速ニ上陸ヲ實施シ得ル如ク之ヲ定ム敵前上陸ヲ企圖スル場合ニ於テ特ニ然リ而シテ同一區劃内ニハ爲シ得ル限り建制部隊ヲ配當スルヲ可トスルモ速力ニ上（揚）陸セシムベキ部隊（材料）並ニ迅速ニ警戒配置ニ就クヲ要スル部隊等ニ在リテハ之ヲ數區劃ニ分載シ特ニ其ノ人員ハ上層甲板ニシテ出入口ニ近ク位置セシムルノ著意ヲ必要トス

第六十 乗船場ニ於ケル軍隊ノ集合法及集合時刻ハ搭載準備ニ要スル時間及搭載順序ヲ考慮シテ之ヲ定ム

軍隊ノ搭載準備ニ要スル時間ハ其ノ編制裝備特ニ馬ノ數、材料ノ多寡及種類等ニ依リ異ナルモ徒步部隊ニ在リテハ一時間ヲ、車輛部隊及自動車部隊

ニ在リテハ一時間半乃至二時間ヲ、輜重兵ニ在リテハ二乃至三時間ヲ標準トス

第六十一 搭載ハ船内搭載區分ニ基キ舟艇ノ數、搭載量及運行要領、起重機ノ數及能力、舷梯及索梯ノ數等ヲ考慮シ且人員ニ在リテハ全舷梯及索梯ヲ、馬、材料ニ在リテハ全起重機ヲ間斷ナク使用シ所定時間内ニ搭載ヲ終了セシムベキモノトス而シテ搭載ハ概ネ材料、馬、人員ノ順序ニ又馬、材料ノ搭載ハ揚陸ト各、反對順序ニ之ヲ實施ス

馬ハ通常上層甲板ヨリ逐次下層ニ搭載シ馬欄ニ餘裕アルトキハ成ルベク各馬欄列毎ニ其ノ一端又ハ兩端ニ豫備馬欄ヲ存シ馬欄ノ掃除ニ便ナラシム

第六十二 人馬、材料ノ搭載ハ概ネ左ノ要領ニ依ル

一、諸材料ハ搭載前適宜梱包シ且標識ヲ附シ破損、紛失、混淆ヲ防止ス
彈藥、揮發油其ノ他危險品ハ發火又ハ引火ノ豫防ヲ周到ニシ搭載場所、積付、取扱等ニ細心ノ注意ヲ拂ヒ且容器及梱包ヲ常ニ完全ナル狀態ニ

1532

1531

1533

1037

在ラシムルヲ要ス

輜重車ハ通常車輪ト車體トニ分解シ其ノ他ノ車輛類ハ其ノ儘前、後車ハ離脱ス
搭載シ馬具ハ適宜梱包シ通常馬ト同一區劃内ニ搭載ス

戰車、自動車等ノ搭載ニ方リテハ吊具ノ點檢ヲ勵行シ其ノ裝著法ヲ適
切ナラシムルト共ニ起重機ノ操作特ニ引揚ノ初期及甲板上ニ觸ルル直
前ニ於ケル操作ヲ圓滑緩徐ナラシムルヲ要ス又附屬器具及材料、燃料
等ハ之ヲ車體ト分離シテ梱包搭載ス

二、馬ハ搭載前穀類ヲ減飼シテ干草ヲ多ク與ヘ若干ノ運動ヲ行ヒテ其ノ
沈靜ヲ圖リ又搭載直前ニハ水與ヲ行フヲ要ス

搭載ニ方リ馬ノ蹴踢、滑走ヲ防グ爲之ニ藁沓ヲ裝スルヲ可トス

輸送船棧橋(岸壁)ニ接著シアルトキハ馬ハ通常起重機ニ依リ搭載ス時
トシテ甲板ニ依リ船内ニ牽入ル此ノ際滑走ノ防止ニ注意スルヲ要ス
輸送船海上ニ碇泊シアルトキハ馬ハ舟艇ニ依リ舷側ニ導キ起重機ニ依

輸送 船舶

三五

リ搭載ス馬ヲ舟艇ニ搭載スルニ方リテハ舟底ニ藁、藁等ヲ敷キ堅固ナル蹈板ヲ架シ之ヲ固定シ温順ナル馬ヨリ逐次ニ牽入ル。舟艇ニ牽入レタル馬ハ同一方側ニ向カシメ韁(牽綱)ヲ舷側内ニ在ル馬繋環等ニ通シテ保持ス。若シ舟艇ヲ併列曳航スル場合ニ於テハ馬頭ヲ相對向セシメ輸送船ニ接著ノ際馬頭ヲ其ノ舷側ニ向カシムル如ク舟艇ヲ位置セシム。

三、馬絡ヲ馬體ニ裝スルニハ最初之ヲ馬背ニ置キ然ル後回轉シテ馬腹ニ當テ先ヅ結繩ヲ、次デ頸綱、韁、韁ヲ緊張シツツ正確ニ結著シ馬絡ノ位置ヲ正シク且水平ナラシム。

馬絡ヲ馬體ヨリ脱スルニハ先ヅ頸綱、韁、韁ヲ、次デ結繩ヲ解キテ側方ニ脱ス。

四、起重機ニ依リ馬ヲ搭載スルニハ馬絡ヲ裝セル馬ヲ起重機ノ直下ニ位置セシメ馬絡ノ吊鉤ニ起重機ノ鉤ヲ懸ケ迅速ニ棧橋(岸壁)又ハ舟底

1535

1230

ヨリ適宜ノ高サニ引揚ゲ徐ロニ甲板上(甲板ニハ藁又ハ藁ヲ敷クヲ可
トス)ニ卸シ四蹄甲板ニ觸ルルヤ直チニ馬絡ヲ脱シ最モ遠キ馬欄ヨリ
順序ニ牽入レ懸帶ヲ装ス
五、乗船前徒歩兵ハ靴ヲ脚絆ノ上ニ穿チ背囊ノ鈞金ヲ脱シ乗馬兵ハ拍車
ヲ除ク
乗船ノ爲舟艇ヲ用フルトキハ兵ハ將校若クハ下士官ノ誘導ニ依リ銃ヲ
提ゲテ乗込ミ順次遠キ所ヨリ艇首ニ面シ前後左右ノ間隙ヲ密縮シテ踞
坐ス若シ海上危険ノ虞アルトキハ豫メ背囊ヲ卸シ要スレバ救命胴衣ヲ
装著ス
舟艇内ニ於テハ靜肅ニシ手其ノ他携帶品ヲ舷側外ニ出スベカラズ
舷梯ハ各人距離ヲ短縮シ且澁滞ナク登ルコト必要ナリ而シテ乗船ノ爲
舟艇ヲ用フル場合ニ於テハ幫助者ヲ舷梯ノ最下部ニ位置セシメ舟艇ヨ
リ舷梯ヘノ移乗ヲ幫助セシム

輸送 船舶

三七

下士官、兵ハ乗船後速カニ各自ノ座席ニ就キ携帯兵器、防毒面、背囊（背負袋）等ハ適宜之ヲ座側ニ置キ以テ通路ヲ開放ス
救命具（救命圈、救命衣、通常乗船直後時トシテ受領セバ各自之ヲ點檢シ所定ノ位置ニ整頓ス）
テ乗船ス

六、陸上勤務員ハ搭載ヲ終ルヤ乗船場内外ヲ巡視シテ殘置品ノ有無ヲ檢シ全部ノ乗船終了ヲ確認シタル後輸送指揮官ニ報告シ其ノ命令ヲ待チテ乗船ス

第六十三、輸送指揮官ハ軍隊乗船間通常棧橋（岸壁）附近ニ位置シテ全般ノ指揮ニ任ジ又常ニ搭載掛將校及碇泊場司令官ト密接ナル連絡ヲ保持シ所定ノ時間内ニ搭載ヲ終了セシメ最後ニ乗船ス而シテ乗船效程ニ影響ヲ及スガ如キ狀況發生セバ要スレバ之ガ處置ニ關シ碇泊場司令官ト協定ス
乗船間輸送指揮官ト碇泊場司令官部職員並ニ陸上下輸送船トノ連絡ノ爲ニハ傳令、視號通信、往復舟艇等ヲ使用スルヲ通常トス

1537

1238

第六十四 搭載終了スルヤ輸送指揮官ハ之ヲ碇泊場司令官、監督將校及船長ニ通報シ船内ヲ巡視シテ搭載ノ景況ヲ検査ス下士官、兵ハ此ノ検査終ル迄其ノ座席ニ在ルヲ要ス

第六十五 輸送指揮官ハ輸送船上陸地ニ到着スルニ先ダチ乗船部隊ヲシテ上陸準備ヲ爲サシム

輸送船隊上陸地ニ到着スルヤ其ノ高級先任ノ指揮官ハ速カニ上陸ニ關シ該地碇泊場司令官ト又要スレバ上陸後ノ宿營、給養、鐵道輸送等ニ關シ關係各機關ト連絡協定シ上陸ニ關スル命令ヲ下ス

輸送指揮官ハ前項ノ命令ニ基キ乗船ノ場合ニ準ジ該地碇泊場司令官ト協定シタル後上陸ニ關スル命令ヲ下ス

第六十六 上陸順序ハ通常乗船ト反對ニ行フ而シテ上陸ハ陸上ノ諸準備ヲ整ヘタル後開始スルヲ通常トシ短時間ニ之ヲ終了スルニ勉ムルヲ要ス

人馬、材料ニ關スル注意及勤務員ノ配置等ハ乗船ノ場合ニ準ズ

第六十七 輸送指揮官ハ上陸セシ人馬、材料ヲ速カニ棧橋(岸壁)ヨリ退去セシメ爾後ノ上陸動作ヲ容易ナラシムルヲ要ス

第二款 船内ノ動作

第六十八 輸送指揮官ハ速カニ船内ノ警備、軍隊ノ内務等ニ關シ監督將校及船長ニ議リ所要ノ命令ヲ下ス

第六十九 輸送指揮官ハ諸勤務、日課時限、火災豫防、給養、衛生等内務ニ關シ所要ノ事項ヲ規定ス

第七十 各輸送船ニハ日直將校一名、日直下士官若干名(本部、各兵種ノ中隊若クハ中隊以下ノ獨立セル部隊毎ニ少クモ一名)ヲ置キ且衛兵及所要ノ巡察ヲ設クルモノトス

日直將校ハ輸送指揮官ノ命ヲ受ケ日直下士官、衛兵及巡察ヲ指揮シ通常軍旗、危險品、貴重品、給水栓ノ位置、出入口等ニ哨兵ヲ配置シ時々船内ヲ

1533

輸送 船舶

四一

巡視シ軍紀ノ維持及諸規定ノ實施ヲ警視スルモノトス
 日直下士官ハ日直將校ヨリ内務ニ關シ所要ノ指示ヲ受ケ之ヲ所屬部隊長ニ
 報告シ之ニ關スル部隊長ノ命令ノ實施セラルルヤ否ヤヲ警視スルモノトス
 巡察ハ衛兵ノ勤務ヲ監視シ且屢、船内特ニ材料置場、厩、食事分配所、給
 水所等ヲ巡視スルモノトス
 衛兵ハ船内ノ軍紀ヲ維持シ火災ヲ豫防シ衛生ニ注意スルモノニシテ其ノ人
 員ハ哨所ノ數ニ應ジ之ヲ定ム
 勤務員ノ服裝及服務要領ハ輸送指揮官之ヲ定ム
第七十一 輸送指揮官ハ輸送船及乗船部隊ノ對敵、保安上必要ナル警戒ヲ
 統轄ス之ガ爲處置スベキ事項概ネ左ノ如シ
 一、前橋、船橋、船尾樓等ニ監視者ヲ配置シ敵飛行機、艦船、魚雷、機
 雷其ノ他海上危險物ヲ監視セシム
 二、敵潛水艦又ハ飛行機出沒ノ虞アル海面ニ於テハ常ニ自衛兵器ニ所要

ノ人員ヲ配置シ要スレバ甲板上ニ所要ノ部隊ヲ配置シ隨時射撃ヲ開始
シ得ル如ク準備セシメ且瓦斯警戒及防護ノ處置ヲ講ズ

三、防水扉、防水蓋、舷窓等ハ必要ナル場合ノ外常ニ之ヲ密閉ス火災又
ハ浸水時ニ於ケル乗船部隊ノ行動ニ關シ豫メ規定ス

四、救命艇、救命具及搭載舟艇ノ使用區分ヲ規定シ總員ノ乘艇避難スル
ニ方リ混亂ヲ生ゼザラシム

五、船内燈火ノ漏洩、甲板上ニ於ケル燈火ノ使用及夜間ニ於ケル騒音ヲ
嚴ニ戒メ且危險豫防ノ處置ヲ講ズ

六、企圖秘匿ノ爲要スレバ甲板上ニ於ケル行動ヲ制限ス

七、輸送指揮官ハ狀況ノ急變ニ應ズル爲定位通常ニ位置シ且監督將校、
船長、所要ノ部隊等トノ連絡ヲ確保ス

輸送指揮官其ノ定位ヲ離ルル場合ニ於テハ代理者ヲ置クモノトス
前項第一及第二號ノ業務ヲ實施スル爲輸送指揮官ハ特ニ警備司令ヲ設ケ

1540

12:40

之ニ必要ノ人員、部隊等ヲ屬スルヲ可トスルコト多シ
第七十二 輸送指揮官ハ船内ニ於ケル交通、連絡ニ便ナラシムル爲概ネ左ノ諸設備ヲ實施ス
 一、非常時及上陸時ニ於ケル各部隊ノ集合場及之ヘノ進出路ヲ定メ特ニ暗黒時ニ於ケル行動ヲ容易ナラシムル如ク夜光「ペンキ」、白堊等ヲ以テ標識ヲ設置ス
 二、高級指揮官、輸送指揮官、主要ナル部隊長、監督將校、警備司令、日直將校及船長ノ居室並ニ各部隊ノ位置ヲ掲記セル要圖ヲ調製シ船橋、衛兵所其ノ他所要ノ場所ニ揭示ス
 三、輸送指揮官ノ位置、船橋其ノ他所要ノ場所ニ傳令ヲ配置シ又移動傳聲管、乗船部隊ノ電話等ニ依リ連絡施設ヲ整フ
第七十三 輸送指揮官ハ監督將校ニ議リ時機ヲ得ル毎ニ乗船部隊ヲシテ上陸動作、非常處置、救命具ノ使用法等ヲ演練セシムルヲ要ス

第七十四 輸送指揮官ハ監督將校ヲ介シテ護衛艦及僚船トノ連絡ヲ保持シ
常ニ其ノ動靜ニ注意シ又機ヲ失セズ輸送船隊高級先任指揮官ノ命令ヲ接受
シ以テ狀況ノ變化ニ即應シ得ルノ準備ニ在ルコト必要ナリ危險海面ノ航行
中ニ於テ特ニ然リ

第七十五 輸送船敵ノ艦艇ニ遭遇スルカ又ハ敵ノ攻撃ヲ受ケタル場合ニ於
テ護衛艦ヨリ指令ヲ受クル能ハザルトキハ監督將校ハ狀況之ヲ許セバ輸送
船ノ進退ニ關シ輸送指揮官ニ議ルモノトス但シ乗船部隊最後ノ處決ハ常ニ
乗船部隊ノ高級先任ノ將校之ヲ斷ズルモノトス

第七十六 船内ニ於テ一般ニ遵守スベキ事項概ネ左ノ如シ

火災豫防ニ注意スルコト

喫煙、洗面等ハ必ズ所定ノ場所ニ於テシ又船内ヲ汚損セザルコト

清水ヲ節約スルコト

船橋、船尾樓、操舵室、機關室、炊事場其ノ他危險ナル場所等ニ立入り

又ハ通路、階段等ニ佇立セザルコト

妄リニ點燈シ又ハ所定ノ位置ニ在ル燈火ヲ他ニ持行カザルコト
危險海面ノ航行中ニ在リテハ浮游物ヲ海中ニ投棄セザルコト但シ止ムヲ
得ザル場合ニ於テハ吹、囊等ニ收納シ重量物ヲ附シテ投棄ス

船員ノ動作ヲ妨害セザルコト等

第七十七 幹部ハ屢、厩ヲ巡視シ馬ノ健否ヲ檢シ又換氣、溫度、清潔等ニ
注意シ若シ馬欄ノ弛緩、破損等ヲ發見セバ直チニ修理、補強ヲ行ヒ換氣不
十分ナルトキハ所要ノ處置ヲ講ジ時々馬ノ位置ヲ變更スルヲ可トス特ニ夜
間、降雨、嚴寒時等ニ在リテハ船口ヲ全閉シ換氣ヲ不良ナラシメ易キヲ以
テ注意スルヲ要ス

馬糞ハ一日三、四回ニ分與シ干草ハ常ニ之ヲ與フルニ勉メ飼與前水與ヲ行
フヲ要ス

馬欄ニハ若干ノ筵又ハ藁ヲ敷キテ馬ノ滑走ヲ防ギ且清掃ニ便ナラシメ時々

防臭劑ヲ使用スルハ、船内ニ於テハ時々馬ノ四肢ヲ摩擦シ又ハ前進、後退運動ヲ課スルヲ可トス
上陸直前ニ於テ特ニ然リ又船内ニ牽馬運動ノ設備アルトキハ之ガ利用ニ勉
ムルヲ要ス
懸帶ハ海面靜穩ナル場合ニ於テハ馬ノ四肢ノ負重ヲ輕減スル爲メ又風浪烈シ
ク船體ノ動搖大ナル場合ニ於テハ馬體駐立ノ安定ヲ補助スル爲メ之ヲ使用ス
而シテ懸帶ハ前ノ場合ニ於テハ之ヲ緊張スベキモ後ノ場合ニ於テハ適宜緩
ムルヲ要ス

第三款 給養及衛生

第七十八 乗船部隊ノ給養ハ現品ヲ船長ニ交付シテ行ハシムルカ船主ノ請
負賄ニ依ルカ若クハ之ヲ併用ス其ノ何レニ依ルベキヤハ輸送ヲ命ズル長官
之ヲ定ム

1545

馬糧ハ通常船長ニ之ヲ交付スルモノトス

第七十九 現品ヲ船長ニ交付シテ給養ヲ行フ場合ニ於テハ軍事船舶機關ヨ

リ所要ノ現品ヲ船長ニ交付保管セシメ輸送指揮官ハ船長ヨリ食餌、馬糧ヲ

受領シ上陸前給養人員及食區分等ニ對スル證票(馬糧ニ在リテハ受領證)ヲ

交付スルモノトス

第八十 船主ノ請負賄ニ依リ給養ヲ行フ場合ニ於テハ輸送指揮官ハ船長ノ

提出スル獻立表ニ照ラシ不良ナルカ又ハ定量ニ充タザルトキハ船長ニ要求

シ改善ヲ圖ルモノトス

第八十一 船内ニ於ケル給養ハ通常乗船當日ノ夕食ヨリ上陸當日ノ晝食迄

トシ狀況ニ依リ數食分ノ辨當ヲ携帶上陸セシムルコトアリ敵前上陸ニ於テ

特ニ然リ又上陸後ノ狀況之ヲ要スレバ乗船部隊ラシテ船内豫備糧秣ノ一部

ヲ携行上陸セシム此ノ場合ニ於テハ豫メ命令セラルルヲ通常トス

第八十二 輸送指揮官ハ乗船部隊及勤務員ヲ督勵シ又船長ト協議シテ衛生

輸送 船舶

四七

1546

1242

輸送 船舶

四八

状態ヲ良好ナラシムルヲ要ス航行長期ニ互ルカ若クハ炎熱時ノ輸送ニ於テ特ニ然リ之ガ爲志氣ヲ振作シ教練、體操等ヲ課シテ體力ヲ増強スルノ外衛生教育ヲ實施シ豫防接種ヲ完了シ船内ノ換氣通風ニ留意シ且炊事場、入浴場、廁其ノ他ノ清潔ヲ保チ又所要ニ應ジ藥物等ヲ用ヒテ船量ヲ豫防スルト共ニ諸種ノ手段ヲ講ジテ食慾ノ増進ヲ圖ルヲ要ス

第八十三 輸送船ニハ醫極、瓦斯醫極、船舶獸醫極其ノ他所要ノ衛生材料及獸醫材料ヲ備附ケ船長之ヲ保管ス若シ乗船部隊ニ於テ之ヲ必要トスルトキハ輸送指揮官ハ船長ヨリ受領シ器材ハ用済後返納シ消耗品ハ取扱者ヲシテ拂出證ヲ調製シ船長ニ交付セシム

第二節 河川、湖沼等ノ利用

第八十四 河川、湖沼等ノ存在スル地域ニ作戰スル軍隊ハ機動、補給等ノ爲船舶及舟艇ヲ有利ニ使用シ得ルモノトス

第八十五 河川、湖沼等ノ利用ニ方リテハ豫メ水路ヲ調査シ船舶、舟艇ヲ
收集シ水先案内人ヲ求メ其ノ他ノ諸準備ヲ周到ナラシムルコト緊要ナリ
第八十六 各船舶、舟艇ハ當時ノ狀況ニ鑑ミ地上、水上及上空ノ敵ニ對シ
警戒ヲ嚴ニシ此等ニ對スル戰闘ヲ準備シ苟モ敵ニ乘ゼラレザルヲ要ス

第三章 自動車

要則

第八十七 道路ノ數及良否ハ自動車輸送ニ至大ノ影響ヲ及スモノトス故ニ
各級指揮官ハ常ニ道路ヲ偵察シテ其ノ景況ヲ明カニシ之ヲ保護及補修ニ勉
メ輸送ノ實施ニ方リテハ多少迂路トナルモ素質良好ナル道路ノ選定ニ著意
スルコト緊要ナリ然レドモ狀況之ヲ要スレバ不良ナル進路ニ在リテモ萬難
ヲ排シテ輸送ヲ敢行セザルベカラズ

第八十八 自動車部隊ヲ以テスル輸送ハ直通輸送ニ依ルヲ通常トス然レド

輸送 自動車

モ輸送距離ノ長短、道路ノ景況、自動車ノ状態等ヲ考慮シ區間輸送ヲ行ヒ
或ハ之ヲ併用ス

第八十九 自動車部隊ノ進路上就中發着點附近、隘路、主要ナル道路ノ交
叉點等ニ於ケル交通整理ノ適否ハ自動車部隊ノ輸送力發揮上至大ノ影響ヲ
及スモノナルヲ以テ特ニ注意スルヲ要ス

第九十 軍隊移動ノ爲自動車部隊ヲ使用スルニ方リテハ全般ノ狀況ヲ考慮
シ乗車部隊ノ兵力、編組、輸送距離、道路ノ選定等ヲ適切ニシ以テ之ガ利
用ノ眞價ヲ發揮セシムルノ著意特ニ緊要ナリ

自動車輸送中ノ部隊ト雖モ狀況ニ依リ自ラ行軍スルニ躊躇スベカラズ

第九十一 軍隊輸送ニ方リ戰闘ヲ豫期スル場合ニ於ケル自動車部隊指揮ノ
系統ハ通常第二部第二百五十五ニ據リ其ノ他ノ場合ニ於テハ自動車部隊ヲ
乗車部隊ニ配屬セザルヲ通常トス

第一節 輸送準備

第九十二 輸送計畫ハ狀況ニ依リ異ナルモ輸送人馬、材料、輸送順序、搭載區分、搭載地、卸下地、出發及到着日時、經路、道路ノ補修、警戒、交通整理、輸送終了後ノ自動車部隊ノ行動等ニ關シ所要ノ事項ヲ定ム

狀況急ヲ要シ豫メ輸送計畫ヲ定ムルノ迫ナキトキハ乘車部隊ノ指揮單位毎ニ自動車部隊ヲ區分配當シ或ハ自動車部隊ノ指揮單位毎ニ之ヲ乘車部隊ニ配當スル等狀況ニ應ジ速カニ搭載ヲ終了スルヲ有利トスルコトアリ

第九十三 軍隊輸送ニ方リ輸送順序及搭載區分ハ主トシテ軍隊使用ノ順序及輸送中ノ警戒ヲ考慮シ之ヲ決定ス此ノ際搭乗人馬、材料等ハ輸送ノ目的ニ鑑ミ緊急ナルモノノミニ制限スルノ著意ヲ必要トス

第九十四 搭載地ノ選定ニ方リ著意スベキ事項概ネ左ノ如シ

適當ナル集合場ヲ有スルコト

輸送 自動車

1550

輸送 自動車

五二

自動車部隊ノ進入及進出容易ナルコト

上空及地上ノ敵ニ對シ遮蔽スルコト

路外ノ行動困難ナル地區及交通頻繁ナル道路附近ヲ避クルコト等

第九十五 乗車部隊及自動車部隊ノ指揮官ハ輸送計畫等ニ基キ速カニ左記事項ニ關シ所要ノ協定ヲ行フ

乗車部隊ノ集合

自動車部隊ノ進入及進出

搭載ノ方法及地點

搭載開始及終了ノ時刻

勤務員

警戒

連絡等

第九十六 自動車部隊ノ指揮官ハ搭載ノ爲自動車及勤務員ヲ部署シ爲シ得

1551

1551

レバ自動車ニ一連ノ番號等ヲ標記シ搭載ニ便ナル如ク準備ヲ整ヘ要スレバ
補助設備ヲ行フ
乗車部隊ノ指揮官ハ通常各車毎ニ車長ヲ定メ警戒及車上ノ取締ニ任ゼシム

第二節 輸送實施

第九十七 搭載ニ要スル時間ハ勉メテ之ヲ短縮スルヲ要ス而シテ其ノ時間
ハ狀況ニ依リ異ナルモ搭載準備完了セル場合ニ於テ一自動車ニ對スル標
準左ノ如シ

人員

五分

馬(二乃至四頭)

三十分

砲車又ハ彈藥車

二十分

其ノ他ノ器材

二十分

卸下ニ要スル時間ハ搭載ニ要スル時間ヨリ稍々短縮スルヲ通常トス

輸送 自動車

五三

第九十八 砲車、彈藥車等ノ搭載ハ後板ヲ開キ床板後端ヨリ適宜ノ斜板ヲ架スルカ又ハ自動車ノ後端ヲ凸道等ノ一側ニ接シテ位置セシメタル後床板上ニ牽入レ後板ヲ閉ヂ荷網及輪止等ヲ以テ之ヲ荷匡ニ固縛ス

第九十九 馬ハ通常裝鞍ノ儘搭載ス

馬ハ側板ト併行又ハ之ト直角ニ搭載ス。搭載スルニハ後板ヲ開キ概ネ床板幅ニ等シク且藁、藁等ヲ以テ滑走防止ノ設備ヲ施セル斜板ヲ架シ馬ヲ床板上ニ導キ後板ヲ閉ヂ要スレバ隔木等ヲ裝ス。床板上ニハ要スレバ適當ナル板又ハ藁、藁等ヲ敷キ補強ス。時トシテ床板高ト同高ナル棧橋ヲ設ケ又ハ凸道等ヲ利用シテ搭載スルコトアリ

自動車ノ荷匡低キトキハ豫メ之ヲ高クシ又馬ノ搭載ヲ終レバ輶ヲ荷匡ニ結著シ顛落、逸出ヲ防止スルヲ要ス

第一百 車上射撃ヲ必要トスルトキハ小銃、輕機關銃ニ在リテハ其ノ射撃方

1553

向ニ依リ側板、後板又ハ運轉臺上面ニ射撃設備ヲ爲シ機關銃等ニ在リテハ
彈藥箱、土囊等ヲ以テ脚位置ヲ高カラシムルヲ可トス
第百一 自動車部隊ノ各級指揮官ハ乗車部隊ノ關係指揮官ト同車シ相互ノ
連絡ヲ容易ナラシムルヲ要ス戰闘ヲ豫期スル場合ニ於テ特ニ然リ
第百二 乗車部隊ノ一般ニ遵守スベキ事項概ネ左ノ如シ
乗(下)車ノ動作ヲ敏速ニシ兵器ノ愛護及危險豫防ニ注意スルコト
記號ト誤認セラレ易キ身振ヲ爲シ或ハ旗類ヲ振ルガ如キ動作ヲ爲サザル
コト
指定セラレタル者ハ耳目ヲ活動シテ警戒シ行進間常ニ道標、標識竝ニ前、
後車ノ狀態ニ注意シ適時之ヲ車長ニ報告スルコト
自動車不意ノ動搖又ハ停止等ニ方リ妄リニ下車セザルコト
火氣ニ注意シ引火、發火ヲ豫防スルコト
不良ナル進路ニ於ケル輸送ニ在リテハ乗車部隊ハ適時下車シ自動車部隊

輸送 自動車

五五

ノ行進ヲ援助シ協同シテ通過ニ勉ムルコト等

第百三 輸送中敵飛行機ノ攻撃ヲ受クルニ方リ疎開シテ行進ヲ續行スベキ
ヤ或ハ停止スベキハ豫メ定メ置クヲ要ス而シテ自動車停止セバ乗車部隊
ハ機敏ニ下車シ適宜車輛ヨリ離隔シテ疎開シ直チニ敵機ノ墜墜ニ勉ム

第百四 卸下地ノ選定ハ搭載地ノ選定ニ準ズ

乗車部隊下車後直チニ戰鬪ヲ豫期スル場合ニ於ケル卸下地ハ要點ヘノ進出
或ハ展開等ニ便ナルヲ要ス然レドモ過度ニ敵ニ近接シ爾後ニ於ケル行動ノ
自由ヲ失ヒ又ハ無益ノ損害ヲ被ルガ如キコトナキヲ要ス

第四章 飛行機

第百五 飛行機ニ依ル輸送ハ其ノ迅速ナル機動力ニ依リ戰機ニ投ジ履偉
大ナル效果ヲ發揮ス然レドモ輸送ノ爲飛行機ヲ使用スルハ他ノ輸送機關ノ
使用不可能ナルカ或ハ特ニ急ヲ要スル輸送ニ限ルモノトス

1555

1227

輸送 飛行機

第百六 飛行機ニ依ル輸送ノ爲ニハ通常輸送機ヲ用ヒ之方實施ハ關係飛行
部隊指揮官ノ指揮又ハ區處ニ依ルヲ通常トス

第百七 飛行機ニ依ル輸送ニ方リテハ豫メ關係機關ニ連絡シ人員、材料ノ
搭載準備ヲ周到ニシ飛行機ノ出發ヲ遅延セシムルガ如キコトナキヲ要ス而
シテ出發ニ方リテハ豫メ先方ノ關係機關ニ連絡シ置クノ著意ヲ必要トス

第百八 敵ノ後方ニ於ケル要點ヲ占領シ或ハ其ノ重要ナル交通幹線ヲ破壊
セシムル等ノ目的ヲ以テ所要ノ部隊ヲ飛行機ニ依リ輸送スルコトアリ

第百九 飛行機ニ依ル輸送中一般ニ遵守スベキ事項概ネ左ノ如シ

勉メテ輕裝スルコト

飛行中特ニ離著陸ニ方リ安リニ位置ヲ移動セザルコト

火氣ニ注意シ引火、發火ヲ豫防スルコト

機關裝置ニ安リニ觸レザルコト

飛行機不調ノ場合ニ於テハ特ニ沈著シ乗務員ノ指示ニ從フコト等

五七

1556

1222

輸送 飛行機

五八

第一百

飛行機ニ依リ彈藥、糧食等ヲ補給スルニ方リ著陸ヲ許サザル場合

ニ於テハ空中ヨリ投下セザルベカラズ此ノ際注意スベキ事項概ネ左ノ如シ

投下物一梱ノ大イサハ航空機ノ種類及落下傘ノ大イサニ適應シ投下ニ便

ナル如ク之ヲ定メ且其ノ梱包ハ破損セザル如クスルコト

投下物ハ豫メ飛行場等ニ集積シ急需ニ應ゼシムルコト

投下物ニハ受領部隊、品種、數量等ヲ明記スルコト

受領部隊ハ希望スル投下地點ヲ的確ニ通報シ勉メテ部隊號ト共ニ之ヲ標

示スルコト

投下地點ハ成ルベク廣闊ニシテ且飛行機ヨリ發見容易ナルコト

投下ニ方リ使用セラレタル落下傘ハ速カニ之ヲ還送スルコト等

三部 四

第二篇 補給及給養

通 則

第百十一 補給及給養ハ軍隊ノ戰鬥力ヲ維持増進スル爲必須ノ要務ニシテ之ガ適否ハ作戰ニ重大ナル影響ヲ有ス而シテ軍ノ需要ハ輒近益、複雑多量トナリ補給及給養ヲ困難ナラシメ易シ不毛、極寒ノ地ニ於テ特ニ然リ

第百十二 高級指揮官ハ絶エズ作戰ノ推移ニ應ズル軍ノ需要ヲ豫察シ其ノ緩急ヲ明カニシ補給路ノ設定、輸送機關ノ運用、軍需品ノ整備、交付等ヲ適切ナラシムル如ク勉メテ計畫的ニ統制アル補給ヲ行フコト緊要ナリ

第百十三 高級指揮官以下ハ補給ニ關シ絶エズ部下軍隊ノ現況ヲ明カニシ必要ノ事項ヲ上級指揮官ニ報告シ補給機關トノ連絡ヲ密ニシ所要ノ軍需品ヲ充實シ常ニ其ノ戰鬥力ヲ完備セシメ緊急ノ場合ニ於テハ自ラ責ニ任ジ機宜ノ處置ヲ講ズルヲ要ス

補給及給養 通則

五九

1551

- 第百十四 高級指揮官ハ補給ヲ圓滑ナラシムル爲各種輸送機關ノ特性ヲ發揮セシムルト共ニ其ノ濫用ヲ戒メ適時整備ノ時日ヲ與ヘ又道路ノ維持、補修及交通整理ニ留意スルコト緊要ナリ
- 第百十五 各級指揮官ハ軍需品ヲ節用愛護シ現地物資ヲ收集、利用スル等軍需品追送量ノ輕減ニ勉メ緊要ナルモノノ補給ヲ容易ナラシムルヲ要ス
- 第百十六 廣ク敵國ノ工場施設ヲ利用スルハ軍ノ戰鬪力ヲ保持増進スル爲極メテ緊要ナリ故ニ軍隊ハ之ヲ占領セバ其ノ破壊及散逸防止ノ處置ヲ講ズルト共ニ速カニ之ヲ報告シ其ノ利用ニ關シ遺憾ナカラシムルヲ要ス
- 第百十七 補給ニ任ズル指揮官ハ常ニ戰況及地形ヲ詳カニシ進ンデ上級指揮官ノ企圖及關係部隊ノ狀態特ニ其ノ希望ヲ詳知スルニ勉メ適時補給ノ狀況及自己ノ企圖ヲ報告、通報シ要スレバ意見ヲ具申シ積極的ニ行動シ以テ補給ヲシテ戰機ニ投合セシムルコト緊要ナリ
- 第百十八 高級指揮官ハ自己ノ企圖ニ基キ補給ヲ受クベキ軍需品、補給點

1551

1551

師團等ニ對シ軍需品ヲ交付ス輸送機關及軍隊裝備ノ現況、現地物資ノ狀況、道路ノ狀態等ヲ考慮シ補給計畫ヲ定ム

補給計畫ハ補給スベキ各種軍需品ノ整備及交付並ニ輸送機關運用上ノ準備ヲラシムルモノニシテ通常補給スベキ軍需品ノ種類、數量、調達、修理及集積、補給ノ時期、地點及緩急ノ順序、輸送機關ノ部署等ヲ包含セシム而シテ其ノ精粗ハ狀況ニ依リ異ナルモ常ニ狀況ノ變化ニ即應シ得ル如ク彈力性ヲ保持セシムルコト特ニ緊要ナリ

第百十九 補給ニ方リテハ單ニ數量ノ全キヲ以テ満足スルコトナク其ノ實質ヲ完全ナラシムルニ勉ムルヲ要ス

第百二十 狀況ニ依リ兵站輸送機關ノ一部ヲ第一線兵團ニ配屬シテ其ノ輸送力ヲ増大シ或ハ師團輜重等ノ一部ヲ兵站ニ轉屬シ時トシテ此等ヲ臨機改編スル等特別ノ手段ヲ講ズルコトアリ此ノ際高級指揮官ハ所要ニ應ジ其ノ積載品ノ品種、數量等ニ關シ標準ヲ定ムルモノトス

補給及給養 通則

六一

1560

補給及給養 通則

六二

輜重ト彈藥班、役列及行李トノ間ニ於テモ亦前項ニ準ジ臨機ノ手段ヲ講ズルコトアリ

各級指揮官ハ補給機關ノ行動困難ナル場合ニ於テハ彈藥、糧秣等ヲ人力ヲ以テ運搬シ補給ニ遺憾ナカラシムルヲ要ス

第百二十一 師團長豫備軍需品ヲ集積スルトキハ彈藥、燃料、化學戰資材其ノ他ノ戰闘資材ハ兵器部長ヲシテ其ノ集積所ニ、糧秣其ノ他ノ給養品、被服、事務用品等ハ經理部長ヲシテ野戰倉庫ニ、衛生（獸醫）材料ハ軍醫（獸醫）部長ヲシテ衛生隊（師團病馬廠）ニ保管セシムルヲ通常トス

第百二十二 師團長ハ作戰上ノ必要ニ基キ所要ノ軍需品ヲ増加携行セシメ又ハ直接必要ナキモノヲ殘置セシムルコトアリ此ノ場合ニ於テハ之ガ携行、輸送、保管等ニ關シ的確ナル指示ヲ與フルコト緊要ナリ

各部隊長ハ患者ヲ運搬スルトキ及定數外ノ軍需品ヲ携行スルトキニ限り師團長ノ許可ヲ得テ一時行李ヲ増加スルコトヲ得然レドモ過度ニ之ヲ増大シ

1561

作戦行動ニ支障ヲ及スコトナキヲ要ス
行李ノ豫備車輛(豫備駄馬)ヲ使用スル場合ニ於テハ一車輛(一駄馬)ノ積載
量ハ定量ノ約半バヲ超過セシメザルヲ要ス
第二百二十三 輜重ノ運用ニ方リテハ動物輜重ハ戰線ニ近ク、自動車輜重ハ
後方ニ使用スルヲ通常トス然レドモ道路及其他部隊ノ行動ノ關係等之ヲ許セ
バ所要ノ自動車輜重ヲシテ戰線近ク迄直送セシムルヲ利トスルコトアリ
動物輜重、自動車輜重相互ノ接合點ニハ通常積換所ヲ設クルモノトス而シ
テ積換所ハ各種輸送機關ノ輸送力、道路網、授受ノ便否特ニ交通整理ノ難
易、敵火等ヲ考慮シ成ルベク戰線ニ近ク選定スルノ著意ヲ必要トス
第二百二十四 師團長ハ裝甲運搬車隊ヲ主トシテ緊要ナル戰線ニ對スル補給
ノ爲第一線部隊ニ配屬スルヲ通常トス
第二百二十五 現地物資ヲ利用センガ爲ニハ通常購買又ハ徵發ニ依ルモ成ル
ベク購買ニ依ルヲ可トス

補給及給養 通則

六三

徴發ハ高級指揮官ノ命令ニ依ルカ若クハ其ノ許可ヲ受ケテ實施スルヲ通常トス然レドモ非常ノ場合ニ於テハ各部隊長或ハ其ノ地ニ於テ指揮ヲ執ル高級先任ノ將校ハ徴發ノ權ヲ有ス

本令ニ示ス徴發法ハ敵國ニ於テ行フ方法ニシテ同盟國又ハ聯合國ニ於ケル徴發ハ別ニ定メラルル方法ニ依ル

第百二十六 徴發セル物資ニ對シテハ賠償ヲ與フルカ若クハ後日ノ賠償ニ資スベキ證票ヲ附與ス但シ賠償ヲ受クベキ者不在又ハ不明ノ場合ニ於テハ公示等適宜ノ方法ニ依リ賠償ノ處置ヲ爲スモノトス

第百二十七 軍司令官又ハ獨立セル師團長ハ要スレバ鹵獲品ヲ以テ其ノ隷下部隊ノ馬、器材、燃料、糧秣等ヲ補充セシムルコトヲ得然レドモ所要ノ消(除)毒又ハ防疫ノ處置ヲ講ズルヲ要ス

第百二十八 軍需品ハ空襲ノ目標トナリ或ハ敵ノ間諜又ハ小部隊ノ攻撃等ヲ受ケ易キヲ以テ警戒ヲ嚴ニシ且其ノ集積法、偽裝等ヲ適切ナラシムルコ

1563

ト緊要ナリ彈藥、燃料等ニ於テ特ニ然リ
軍需品中發火若クハ爆發性大ナルモノハ之ヲ離隔シ又氣象ノ交感大ナルモノハ適宜保護ノ處置ヲ講ズルノ著意ヲ必要トス

第百二十九 集積又ハ輸送中ノ軍需品ハ豫メ被毒防止ノ處置ヲ講ジ要スレバ消(除)毒ノ準備ヲ整フルモノトス而シテ汚毒セラレタル軍需品ハ所要ノ消(除)毒ヲ行ヒ止ムヲ得ザルモノハ之ヲ廢棄ス

第百三十 軍ノ後方ハ廢、空襲ノ目標トナリ又機甲部隊、空輸挺進隊等ノ攻撃ヲ受クルコトアリ之ガ爲各級指揮官ハ行李、輜重等ノ掩護ニ關シ留意スルト共ニ此等部隊ハ常ニ警戒ヲ嚴ニシ自衛戦闘ノ準備ニ遺憾ナキヲ要ス而シテ戦闘ニ方リテハ勉メテ積極的ニ行動スルコト緊要ナリ

第一章 兵器ノ補給

要則

補給及給養 兵器ノ補給

六五

第百三十一 兵器ノ補給ノ適否ハ戰闘力ノ消長ニ直接ノ影響ヲ有ス而シテ
上級指揮官ノ機宜ニ適スル兵器ノ補給ト各部隊ノ絶エザル兵器ノ整備トハ
戰闘ノ終始ニ互リ戰闘力ヲ發揮スル爲極メテ緊要ナリ

兵器ノ補給及整備ノ的確ヲ期スル爲高級指揮官以下ハ兵器ノ所在、種類、
數量、整備狀態等ノ實狀ヲ詳カニシ減耗、需要ニ關スル判斷ヲ正鵠ナラシ
ムルヲ要ス

第百三十二 兵器ノ補給及整備ノ良否ハ兵器ニ關スル將兵ノ識能如何ニ關
スルコト大ナリ故ニ各級指揮官ハ機會ヲ捉ヘテ之方向上ヲ圖リ取扱、使用
ニ慣熟セシムルコト緊要ナリ極寒、酷熱、風塵、雨、海水等ノ兵器ニ對ス
ル交感大ナル場合ニ於テ特ニ然リ

第一節 彈藥ノ補給

第百三十三 彈藥ノ補給ノ適否ハ直接戰勝ニ重大ナル關係ヲ有スルモノト

1564

1565

1080

ス而モ之ガ補給ハ追送ニ依ラザルベカラズ故ニ高級指揮官ハ作戦ノ推移、
戦闘ノ性質等ヲ考慮シ周到ニシテ且機宜ニ適スル處置ヲ講ジ最モ效果アル
補給ヲ實施スルコト緊要ナリ

第百三十四 師團長ハ輜重隊ヲシテ彈藥交付所ヲ開設シ各部隊ニ彈藥ヲ交
付セシムルヲ通常トス

師團長ハ彈藥交付所ノ開設ニ方リ使用スベキ所要ノ彈藥ハ積載輜重兵中
(小)隊數ヲ以テ示スヲ通常トシ爾後要スレバ更ニ彈種、數量等ノ細部ニ關
シ之ヲ示スモノトス

輜重兵聯隊長ハ戦闘間別命ナキトキハ開設ニ方リ命ゼラレタル彈藥ヲ彈藥
交付所ニ在ラシムル如ク補充ヲ繼續スルヲ通常トス

彈藥交付ニ方リ兵器勤務隊ハ所要ニ應ジ交付業務ヲ援助スルモノトス
第百三十五 彈藥交付所ハ展開ノ状態、地形特ニ道路ノ景況等ヲ考慮シ一
若クハ數箇所ニ開設ス此ノ際歩兵彈藥ノ爲第一線歩兵聯隊ニ對シ一箇ヲ設

補給及給養 兵器ノ補給

六七

9951

7202

補給及給養 兵器ノ補給

六八

クルヲ得バ有利ナリ。彈藥交付所ト交付ヲ受クル部隊トノ距離ハ道路ノ景況、彈藥班及役列ノ輸送力、輸送量等ヲ考慮シ步兵ノ爲ニハ勉メテ前方ニ位置シ爾後戰線ノ推移ニ應ジ逐次移動スルモノトス。

第三百三十六 高級指揮官ハ戰闘ニ方リ使用シ得ベキ彈藥ノ概數ヲ示シタル場合ニ於テモ要スレバ戰闘ノ推移ニ應ジ各部隊ニ補給スベキ彈種、數量等ヲ示シ以テ其ノ使用ヲ現況ニ適合セシムルヲ要ス。

第三百三十七 各級指揮官ハ必要以上ノ彈藥ヲ補充スルハ嚴ニ之ヲ戒ムルヲ要ス又命令以外ノ彈藥ヲ集積スルヲ得ズ。

第三百三十八 步兵聯隊彈藥班ノ彈藥ハ彈藥交付所ニ、步兵大隊彈藥班及聯隊砲彈藥小隊ノ彈藥ハ通常步兵聯隊彈藥班狀況ニ依リ彈藥交付所ニ到リ補給ヲ受クルモノトス。

野戰砲兵大隊段列ノ彈藥ハ通常聯隊段列狀況ニ依リ彈藥交付所ニ到リ補給

ヲ受クルモノトス
野戰砲兵聯隊段列ニシテ自動車編制ニアザルモノノ彈藥ハ彈藥交付所ニ
到リ補給ヲ受クルモノトス
師團ノ編制内ニ在ル自動車編制ノ聯隊段列（聯隊ヲ成サザルモノニ在リテ
ハ其ノ段列等）ハ彈藥交付所、積換所若クハ兵站ニ、師團ニ配屬セラレタ
ル部隊ノ自動車編制ノ段列等ハ直接兵站ニ到リ補給ヲ受クルヲ通常トス但
シ小ナル部隊ニ對シテハ所屬部隊長適宜之ヲ處置スルモノトス
狀況ニ依リ前諸項ニ據ルコトナク輜重隊直接第一線又ハ砲兵中隊等ニ補給
スルコトアリ追撃ノ場合等ニ於テ特ニ然リ
第百三十九 彈藥ノ補給機關ヲ有セザル部隊ハ最寄步兵部隊或ハ輜重隊ヨ
リ補給ヲ受クルモノトス此ノ際彈藥ノ請求ヲ受ケタル部隊ハ爲シ得ル限リ
之ニ應ズルヲ要ス
第百四十 戰闘後適時ニ輜重隊ヨリ彈藥ノ補給ヲ受クル能ハザルトキ竝ニ

補給及給養 兵器ノ補給

六九

輜重隊ノ有セザル彈藥ノ補給ヲ受ケントスルトキハ速カニ高級指揮官ニ報告スルモノトス

第四百十一 彈藥ハ素箱ニ納メタル儘補給スルヲ通常トシ之ヲ受領シタル部隊ハ所要ニ應ジ適宜彈藥車又ハ彈藥箱ニ收容ス
彈藥ノ補給ニ方リテハ勉メテ同一口ノモノヲ同一部隊ニ交付スルモノトス
彈藥ノ補給ニ任ズル部隊ハ其ノ空車馬等ヲ利用シ打毀藥莢等ノ後送ニ勉ム
第四百十二 彈藥ノ補給ニ方リ其ノ數量ヲ示スニハ小銃、機關銃彈等ハ箱數ヲ、其ノ他ノ彈藥ハ彈數ヲ用フルヲ通常トスルモ輜重隊等ニ在リテハ其ノ積載中(小)隊數ヲ以テスルコトアリ

第二節 燃料ノ補給

第四百十三 燃料（脂油ヲ含ム）ハ戰車、自動車、飛行機等ノ爲活動ノ源泉ナリ故ニ常ニ之ガ整備ニ勉メ濫用ヲ戒メ必要ナル時期ニ於ケル行動ニ遺憾ナ

カラシムルヲ要ス
燃料消費量ハ部隊活動ノ状況、地形、道路ノ景況、氣象、季節等ニ依リ著シキ差異アルニ注意スルヲ要ス

第四百四十四 戦車、自動車等ノ燃料ノ補給ハ彈藥ニ準ズ

少數ノ自動車ヲ有スル部隊ノ燃料ハ最寄部隊ニ適宜請求スルコトヲ得

第四百四十五 燃料ノ補給ハ燃料罐ノ空實交換ニ依ルヲ通常トス

燃料ハ火災、爆發、漏失等ノ虞大ナルヲ以テ之ガ取扱ニ關シテハ常ニ十分ナル注意ヲ必要トス

第三節 其ノ他ノ兵器ノ補給

第四百四十六 各部隊ハ其ノ所有兵器ニ對シテハ自ラ整備ニ任ズ

戦闘間ニ於テハ各部隊ハ破損セル部品ヲ交換シ或ハ豫備兵器ノ交付ヲ受クル等常ニ所有兵器ノ状態ヲ良好ナラシメ以テ戦闘遂行ニ遺憾ナキヲ要ス然

補給及給養 兵器ノ補給

150

1200

補給及給養 兵器ノ補給

七二

レドモ整備困難ナルモノニ在リテハ機ヲ失セズ上級指揮官ニ兵器ノ種類、數量、破損ノ程度等ヲ報告スルモノトス

第四百四十七 戰鬪局ヲ結ブヤ各部隊ハ直チニ兵器ヲ修理シ戰鬪力ノ回復ヲ圖リ以テ爾後ノ作戰ニ適應セシムルヲ要ス

高級指揮官以下ハ各種修理機關ヲ勉メテ前方ニ派遣シ要スレバ巡回修理ニ任ゼシメ且修理用部品及材料、工具等ノ補給ヲ良好ニスルト共ニ現地ニ在ル修理用資材ノ利用ニ勉ムルコト緊要ナリ

第四百四十八 兵器勤務隊ハ兵器部長ノ區處ヲ受ケ各部隊ト連繫シテ兵器ノ修理、殘置(鹵獲)兵器ノ收集、兵器ノ修理用部品、材料及手入材料ノ交付等ニ任ズ但シ戰車及自動車ニ關スル修理ヲ含マズ

第四百四十九 各部隊ノ兵器修理ノ爲軍補給諸廠ノ移動修理班ハ各師團ニ分屬セラレ又ハ軍補給諸廠ノ直轄トシテ巡回修理ニ任ズ

移動修理班ニ於テ修理シ得ザルモノハ軍補給諸廠ニ於テ之ヲ實施スルモノ

1251

トス
第百五十 戦闘間各部隊ノ鹵獲セル兵器ハ一時使用スルコトヲ得ルモ速カ
ニ之ヲ上級指揮官ニ報告スルヲ要ス
第百五十一 化學戰資材ノ補給ハ彈藥ニ準ズ
化學戰資材ノ取扱ニハ特別ノ注意ヲ要スルモノアルヲ以テ所要ニ應ジ監視
者ヲ附スル等ノ著意ヲ必要トス

第二章 給養及給養諸品ノ補給

第百五十二 高級指揮官以下ハ常ニ部下ノ給養ニ留意シ要スレバ機宜ノ處
置ヲ講ジ以テ之ヲ完全ナラシムルニ勉ムルヲ要ス
第百五十三 給養ハ各人馬ノ携帶スル糧秣、行李及輜重ニ携行スル糧秣、
倉庫ノ糧秣若クハ部隊ノ購買、徵發セル糧秣ニ依ルヲ通常トシ稀ニ舍主ノ
供給スル糧秣等ニ依ルコトアリ

補給及給養 給養及給養諸品ノ補給

2451

2451

補給及給養 給養及給養諸品ノ補給

七四

第百五十四 人馬ニ對シ給與スベキ糧秣ノ標準ノ定量ヲ基本定量、行李及輜重ニ携行スル定量ヲ携行定量、各人馬ノ携帶スル定量ヲ携帶定量ト謂フ。狀況特ニ戰況、現地物資ノ狀態等ニ依リ前項ノ諸定量中其ノ品種及量ヲ變更シ或ハ標準金額ヲ示シ部隊ヲシテ適宜調達セシムルコトアリ。軍ヨリ師團等ニ對シ補給スル定量ト謂フ。ハ作戰地ノ狀況ニ依リ異ナルモノニシテ適時指示セラルモノトス。

第百五十五 基本定量ニ對スル不足ノ糧秣ト謂フ。ハ給養單位タル部隊長勉メテ之ヲ充足シ高級指揮官モ亦諸種ノ手段ヲ講ジ物資ヲ調達シテ各部隊ニ交付スルヲ要ス。

第百五十六 携帶糧秣ハ他ニ給養ノ方法ナキトキ師團長ノ命令ニ依ルカ又ハ各部隊長自己ノ責任ヲ以テ之ヲ使用スルモノトス而シテ後ノ場合ニ於テハ速カニ順序ヲ經テ師團長ニ報告スルヲ要ス。携帶糧秣ヲ使用シタル際之ガ補給ヲ受ケ得ザル場合ニ於テハ各部隊長ハ先

1573

補給及給養 給養及給養諸品ノ補給

七五

ソ行李糧秣其ノ他ノ代用品ヲ以テ繰替補充スルモノトス
各級幹部ハ嚴ニ部下ヲ監視シ常ニ携帶糧秣ヲ完全ニ保持セシムルヲ要ス
第五百五十七 行李糧秣ハ所屬部隊長自ラ之ヲ使用シ部下ノ給養ニ充ツルモ
フトス
師團長ハ行李糧秣補給ノ爲各部隊長ニ糧秣交付所ノ位置、補給スベキ糧秣
ノ種類、數量、交付開始ノ時刻等ニ關シ必要ナル事項ヲ示ス
行李糧秣使用後補給ヲ受ケ得ザル場合ニ於テハ各部隊長ハ機ヲ失セズ現地
物資ニ依リ之ヲ補充スルニ勉メ且其ノ狀況ヲ師團長ニ報告スルモノトス
第五百五十八 輜重糧秣ハ師團長之ヲ以テ通常行李糧秣ノ補給ニ使用スルモ
フトス
師團長輜重糧秣ヲ各部隊ニ交付スル場合ニ於テハ機ヲ失セズ輜重兵聯隊長
ニ交付スベキ糧秣ノ種類、數量、地點、時刻、受領者、要スレバ交付直後
ニ於ケル行動等ニ關シ命令ス

輜重兵聯隊長ハ前項ノ命令ニ基キ所要ノ部隊ヲ前進セシム師團長ハ其ノ經理部長ヲシテ所要ノ人員ヲ派遣シテ之ヲ受領シ糧秣交付所ヲ開設シ各部隊ニ交付セシム狀況ニ依リ輜重隊ヨリ直チニ各部隊ニ交付セシムルコトアリ
糧秣交付所ノ位置ハ敵情、各部隊ノ狀態、道路網ノ關係等ニ依リ異ナルモ特ニ各部隊ニ對スル授受ノ便ヲ考慮シ通常一若クハ數箇所ニ選定ス行李獨立シテ宿營スル場合ニ於テハ行李ノ宿營地附近ニ之ヲ選定スルヲ可トス
第百五十九 野戰倉庫ハ師團又ハ軍ニ於テ各、其ノ作戰地域内ニ主トシテ給養諸品ヲ集積スル爲其ノ經理部長ヲシテ設置セシムルモノニシテ現地調達若クハ追送ニ依リ充實スルヲ通常トス
軍隊駐留スルトキハ速カニ野戰倉庫ヲ設置シ各部隊ノ給養ニ便ナラシムルヲ可トス狀況ニ依リ軍隊行動間ニ於テモ野戰倉庫ヲ設置スルヲ有利トスルコトアリ
第百六十 廣ク現地物資ヲ利用スルハ給養ヲ圓滑良好ナラシムル爲大ナル

1574

1575

補給及給養 給養及給養諸品ノ補給

七七

效果アルモノトス
 状況ニ依リ軍隊自ラ薪炭、干草等ヲ製造若クハ採集スルヲ要スルコトアリ
 第百六十一 現地物資ヲ利用スルニ方リテハ調達ノ方法ヲ適切ニシ其ノ散
 逸ヲ防止スルト共ニ安リニ之ヲ消費シ或ハ未ダ之ヲ取ルベキノ期ニ至ラザ
 ルニ使用シ盡クシ爲ニ爾後ノ利用困難ニ陥ルガ如キコトナキヲ要ス
 前方ニ在ル部隊ハ常ニ背後ヨリ來ル諸部隊ノ需要ヲ考慮シ現地物資ノ確保
 ニ勉メ又適時其ノ状況ヲ報告、通報スルモノトス
 第百六十二 軍隊ハ高級指揮官ノ命令アルニアラザレバ其ノ地方ノ物資ヲ
 燬滅シ又ハ必要以上ニ携行スルヲ許サズ但シ退却等ノ場合ニ於テハ糧秣其
 ノ他ノ諸品ヲ敵手ニ入ラシメザル如ク處置スルコト緊要ナリ
 第百六十三 各部隊ノ現地物資調達區域ハ通常其ノ宿營(戰鬪)地域内トス
 ルモ他部隊ノ在ラザル地區ニハ適宜調達區域ヲ擴張スルコトヲ得而シテ數
 部隊相隣接シアル場合等ニ於テハ上級指揮官ハ必要ニ應ジ之ヲ境界ヲ指定

9251

補給及給養 給養及給養諸品ノ補給

七八

高級指揮官ハ豫メ各部隊ニ物資調達ノ標準價格ヲ指定シ置クモノトス
 部長ヲシテ之ニ任ゼシムルヲ通常トシ其ノ實施ニ方リテハ特ニ地方官憲ヲ
 シテ協力セシムルニ勉ム若シ地方官憲又ハ住民ニシテ徵發ニ應ゼザルカ或
 ハ敵意ヲ有スル場合ニ於テハ將校ノ指揮スル軍隊ヲシテ之ヲ援助セシム
 第百六十五 各部隊直接徵發ヲ實施セントスル場合ニ於テ各部隊長ハ時間
 ノ餘裕アルトキハ地方官憲又ハ住民中ノ名望アル者ニ日時及地點ヲ告知シ
 テ所要ノ物件ヲ提供セシメ時間ニ餘裕ナキカ又ハ前記ノ要領ニ依リ難キト
 キハ將校ノ指揮スル徵發隊ヲ編成シ徵發物資、賠償ノ方法、警戒其ノ他徵
 發隊ノ遵守スベキ事項等ニ關スル細密ナル規則ヲ設ケ至嚴ナル監視ノ下ニ
 施行セシメ且其ノ狀況ヲ高級指揮官ニ報告スルモノトス
 各部隊ノ徵發ニ依ル給養法ハ資源ヲ節用シ難ク且之ガ使用ノ均衡ヲ得ザル

4451

ノ弊アルヲ以テ給養品ノ購買又ハ追送ノ途ナキ等止ムヲ得ザル場合ニ限リ
行フベキモノトス

第百六十六 令主ノ供給スル糧秣ニ依ル給養ニ於テ現金ヲ以テ支拂フベキ
命令ナキトキハ軍隊ハ令主ニ所定ノ證票ヲ交付スルモノトス

第百六十七 炊事ハ主トシテ飯盒ニ依ルモ爲シ得レバ地方炊具ヲ利用スル
ヲ有利トス而シテ行李ニ携行スル野戰炊具ハ飯盒炊事ニ便ナラザルカ或ハ
之ヲ不利トスル場合又ハ地方炊具ノ不足ヲ補フ爲使用ス之ガ爲師團長ハ携
行ノ野戰炊具ヲ所要ノ部隊ニ豫メ交付シ置クヲ可トスルコトアリ

炊事ニ方リテハ各部隊長ハ井泉ノ配當、糧秣及薪炭ノ分配、炊事單位、炊
事法、炊事場ノ位置、炊事終了ノ時刻、警戒ノ要領等ニ關シ必要ナル事項
ヲ示シ以テ炊事ノ爲戰備ヲ缺キ若クハ混雜ヲ惹起スルガ如キコトナカラシ
ムルヲ要ス警戒部隊等ニ於テ特ニ然リ

第百六十八 飲料水ヲ得難キ地方ニ在リテハ高級指揮官以下ハ水ノ補給及

補給及給養 給養及給養諸品ノ補給

節約ニ關シ周密ナル注意ヲ必要トス之方爲高級指揮官ハ作井、濾水及貯水ノ方法ヲ講ジ或ハ給水源ヲ配當シ或ハ他ヨリ良水ヲ得テ之ヲ各部隊ノ位置ニ輸送分配セシム狀況ニ依リ給水所ヲ開設スルコトアリ又各部隊ニハ作井機、濾水機、淨水劑、消毒劑、搬水具、沸水車等ヲ携行セシム何レノ場合ニ於テモ水ノ検査ヲ勵行スルト共ニ防疫ノ處置ヲ講ジ以テ病原菌其ノ他毒物ニ依ル被害ヲ豫防スルコト緊要ナリ

第百六十九 給養機關ヲ有セザル小部隊ノ給養ハ配屬ヲ受ケタル部隊又ハ之ヲ區處スル部隊ニ於テ擔任スルヲ通常トス

給養機關ヲ有セザル小部隊ヨリ給養ノ援助ヲ請求セラレタル部隊ハ之ニ應ズルヲ要ス

第三章 被服其ノ他ノ資材ノ補給

第百七十 被服其ノ他ノ資材ノ補給ニ關シテハ本章ニ據ルノ外本篇第一章

645T

1280

第三節ヲ準用スルモノトス
 第百七十一 高級指揮官ハ季節被服及各部隊自ラ處理シ難キ汚毒被服ノ交換等ニ關シ機ヲ失セズ處置スルコト緊要ナリ
 第百七十二 經理勤務班ノ行フ被服其ノ他ノ修理及殘置(鹵獲)品ノ收集等ニ關シテハ兵器勤務隊ニ準ズ
 軍補給諸廠ノ移動修理班ハ各師團ニ分屬セラレ又ハ軍補給諸廠ノ直轄トシテ巡回修理及消(除)毒ニ任ズ
 第百七十三 部隊及患者收容隊ノ衛生材料ハ衛生隊ヨリ、衛生隊ノ衛生材料ハ軍補給廠ヨリ補給ヲ受クルヲ通常トス狀況ニ依リ最寄衛生機關ニ就キ受領スルコトアリ
 部隊ノ獸醫材料及蹄鐵ハ軍補給廠ヨリ補給ヲ受クルヲ通常トスルモ狀況ニ依リ師團(兵站)病馬廠等ヨリ補給ヲ受クルコトアリ

補給及給養 被服其ノ他ノ資材ノ補給

八一

1580

補給及給養 行李ノ行動

八二

第四章 行李ノ行動

第百七十四 行李ノ行動ノ大部ハ行軍ニシテ各種ノ困難ヲ克服シ屢々晝夜兼行セザルベカラズ故ニ行李ノ指揮官ハ部下ノ掌握ヲ確實ニシ絶エズ周密ナル注意ト適切ナル指導トヲ以テ如何ナル場合ニ於テモ所屬部隊ノ需要ヲ充タスコト緊要ナリ

第百七十五 各部隊ハ其ノ行李中糧秣其ノ他常時軍隊ニ必要ナルモノハ自ラ之ヲ携行シ爾餘ノ荷物其ノ他ニシテ各部隊自ラ携行スル能ハザルモノハ後方行李ハ師團命令ニ依リ一時残置スルカ若クハ輜重兵聯隊長ニ依リ託スルモノトス

後方行李ノ輸送ノ時機、方法、要スレバ掩護等ニ關シテハ師團長の確ナル指示ヲ與フルコト緊要ナリ

第百七十六 師團行李長ハ前方行李以下本章ニ於テ單ニ行李ト稱スルハ前方行李ヲ謂フノ集合ニ關ス

1581

ル師團命令ヲ受クルヤ集合場ノ數、位置、出發後ノ行軍部署等ヲ考慮シテ
行李掛將校ヲ要員タル參謀以下ニ夫々任務ヲ與フ此ノ際集合場、道路等ヲ
偵察シタル後任務ヲ與フルヲ可トスルコトアリ

第百七十七 師團行李長ハ行李ノ集合ニ關シ勉メテ師團命令ノ下達セラ
ルニ先ダテ偵察ヲ行ヒ集合法ニ就キ所要ノ意見ヲ具申シ又師團命令下達ノ
際要スレバ命令受領者ヲ介シ行李ノ集合上必要ナル事項ニ關シ所要ノ連絡
及協定ヲ行フノ著意ヲ必要トス

第百七十八 各部隊長ハ行李ノ集合ニ關シ通常集合場、集合時刻、要スレ
バ宿營地出發時刻、道路、集合ノ爲考慮スベキ他部隊ノ行動、積載品授受
ニ關スル事項等ヲ命令シ齟齬ナク集合場ニ到リ師團行李長ノ指揮ヲ受ケン
ム

行李ノ集合ニ方リ師團行李長及行李掛將校以下ハ各、任務ニ從ヒ行李ノ集
合ヲ指導シ行軍縱隊ニ移ラシムルヲ通常トス

補給及給養 行李ノ行動

1582

第百七十九 各部隊長ハ師團命令ニ依リ後方行李ニ所要ノ人員ヲ附シテ積載又ハ保管ニ便ナル如ク自ラ適宜集積シ行李掛將校ノ指揮ヲ受ケシム
後方行李輜重兵聯隊長ニ依託セラレクル場合ニ於テハ該行李掛將校ハ輜重兵聯隊長ノ指揮ヲ受クルモノトス
第百八十 行李ノ行軍部署ハ軍隊區分、建制ノ保持、集合區分等ヲ考慮シ行李掛將校以下ノ人員ニ應ジ之ヲ決定ス
後方行李ノ輸送ニ方リテハ行李掛將校ハ其ノ積載區分、輸送順序、卸下地點等ノ細部ニ關シ必要ナル事項ヲ輸送ニ任ズル指揮官ニ明示スルコト緊要ナリ
第百八十一 行軍中ノ師團戰闘ヲ開始セントスルニ至レバ行李ハ師團命令ニ依リ適當ノ地ニ停止ス此ノ際爲シ得レバ縱隊ノ大小ニ應ジ通常數地ニ開進スルヲ可トス
師團行李長未ダ停止ニ關スル師團命令ヲ受領セザルモ師團既ニ戰闘ヲ開始

1583

シタルヲ察知セバ一時行李ヲ停止セシメ速カニ師團長ニ報告ス若シ師團命令ニ基キ行李後退シテ停止スルヲ要スルトキハ退却ト誤解セシメザルニ注意スルコト緊要ナリ

第百八十二 行李ハ常ニ其ノ行動ヲ整齊ニシ如何ナル場合ニ於テモ戰列部隊等ノ行動ヲ妨害スベカラズ夜間ニ於テ特ニ然リ此ノ際行李ノ指揮官ハ部下ヲ確實ニ掌握シ事故ヲ生ゼシメザル如ク豫メ處置スルコト緊要ナリ

第百八十三 師團行李長ヨリ師團長ノ許ニ派遣セラレタル連絡將校ハ行李ノ分進ニ關シ師團命令下達セラルルヤ行李ノ行動、各部隊ノ行李誘導ニ關スル處置等ニ就キ各部隊ノ命令受領者ト必要ノ協定ヲ爲シ速カニ之ヲ師團行李長ニ報告シ行李ノ分進ヲ圓滑確實ナラシムルヲ要ス而シテ行李ノ到着迄ニ分進路ヲ偵察シ又各分進團ノ長ノ動作ニ所要ノ援助ヲ爲シ得レバ有利ナリ

第百八十四 師團行李長ハ行李ノ分進ニ關シ師團命令ヲ受領セバ諸隊ノ配

補給及給養 行李ノ行動

置、道路網ノ状態等ヲ考慮シ若干ノ分進團ニ區分シ分進ヲ命ズ
分進團ノ長ハ分進團ヲ指揮シ所要ノ偵察ヲ行ヒ所屬部隊ノ位置附近ニ誘導
シタル後分進セシム

第百八十五 後方行李ノ分進ハ前方行李ニ準ズルモ時トシテ其ノ大部若ク
ハ一部ヲ一地ニ卸下シ各部隊ノ車馬等ヲシテ前送セシムルコトアリ

第百八十六 師團ノ行李獨立シテ行動スルトキハ師團長ハ所要ニ應ジ給養
及衛生ノ爲必要ノ人員ヲ派遣スルモノトス

第百八十七 行李糧秣ヲ所屬部隊ニ交付シタル後行李獨立シテ宿營スル場
合ニ於テハ師團行李長ハ師團ノ糧秣交付ニ任ズル主任者ト連絡シ速カニ行
李糧秣ノ補充ヲ終了セシムルヲ要ス但シ補充スベキ品種、數量ハ行李所屬
部隊長ノ命令ニ依ル

第百八十八 各縱隊毎ニ其ノ所屬行李ヲ合シテ行進セシムル場合ニ於テハ
師團長ハ各縱隊ノ大小、其ノ任務、地形等ヲ考慮シ適宜行李掛將校以下ヲ

585T

補給及給養 行李ノ行動

八七

各縦隊ニ配屬シ其ノ行李ヲ指揮セシムルヲ通常トス
各縦隊ノ行李長ノ動作ハ師團行李長ニ準ズ
第百八十九 行李ノ位置及行動ハ屢、軍ノ配置、企圖等ヲ暴露スルノ端緒
トナルコトアリ故ニ指揮官以下敵ノ空中及地上搜索竝ニ諜報ニ對シ常ニ周
密ナル注意ヲ拂ハザルベカラズ
行李ハ我が企圖及行動ヲ秘匿スル爲夜間ノミヲ利用シテ行動スルコトアリ
此ノ場合ニ於テハ特ニ薄暮又ハ拂曉時其ノ初動、終動ヲ敵ニ暴露セザルヲ
要ス時トシテ欺騙行動ヲ行フヲ可トスルコトアリ
第百九十 行李ハ常ニ警戒、自衛ノ處置ヲ講ジ敵ニ乘ズルノ機會ナカラシ
ムルヲ要ス之ヲ爲適宜進路附近ヲ搜索シ關係部隊トノ連絡ヲ密ニシ敵ノ妨
害ニ方リテハ進シテ之ヲ排除スル等勉メテ積極的ニ行動スルヲ要ス

1282

八八

1585

第三篇 衛生

第一章 人衛生

要則

第百九十一 衛生ハ軍隊ノ戰鬥力ヲ保持増進スル爲極メテ重要ナリ故ニ各級指揮官ハ常ニ衛生機關ノ部署ヲ適切ニスルト共ニ狀況之ヲ要スレバ機宜ノ處置ヲ講ジ又幹部以下周密ナル注意ヲ以テ衛生勤務ヲ確實良好ナラシムルヲ要ス極寒又ハ酷暑ノ地或ハ衛生狀態不良ナル地方ニ於テ特ニ然リ

第百九十二 衛生勤務ニ於テハ保健、防疫、傷病者ノ收療及後送、敵ノ科(化學戰ニ對スル衛生、衛生ニ關スル情報收集、衛生材料ノ補給等ノ業務ヲ行フモノトス

第百九十三 保健ノ目的ヲ達センガ爲ニハ將兵ノ體力、氣力ヲ増強シ特ニ持久力ヲ増進シ得ル如ク衛生ニ關スル諸般ノ指導及施設ニ遺憾ナカラシム

衛生 人衛生

ルコト緊要ナリ

第百九十四 傳染病ハ未然ニ其ノ發生ヲ防止スルコト緊要ナリ之ガ爲防疫ニ關スル軍紀ノ振作及教育ノ徹底ヲ圖リ關係情報ヲ收集シ必要ナル防疫施設ヲ完備スルヲ要ス一處傳染病發生セバ如何ナル場合ニ於テモ速カニ隔離、消毒、檢索、診療等ノ處置ヲ講ジ續發、傳播ヲ防遏セザルベカラズ

第百九十五 傷病者ノ收療及後送ニ方リテハ速カニ傷病者ニ對シ適切ナル處置ヲ施シ成ルベク戰場ニ於テ治癒回復セシメ以テ軍隊ノ戰鬥力減耗ヲ防止スルコト緊要ナリ

第百九十六 敵ノ行フ科(化)學戰ニ對シテハ之ニ關スル情報收集、防護及收療ニ關シ遺憾ナカラシムルト共ニ衛生施設ヲ整ヘ特ニ檢知及衛生的鑑査ヲ行フヲ要ス

第百九十七 原隊ニ復歸スル治癒患者ハ所屬部隊等ノ受領者若クハ兵站地區司令部等ニ引繼ギ爾後ノ行動ヲ確實ナラシムルヲ要ス又患者ニ屬スル兵

689T

1200

第一節 衛生機關

器、被服等ハ現地治癒見込患者ニ必要ナルモノヲ除キ師團兵器部、關係補給廠又ハ兵站地區司令部等ニ引繼ギ之ガ處理ヲ的確ナラシムルヲ要ス

第百九十八 隊附軍醫ハ隊長ノ命ヲ受ケ關係諸官ト密ニ連繫シ部隊ノ衛生勤務ニ關シ計畫、調査、指導及之ガ實施ニ任ズ

軍醫ヲ有セザル部隊ニ在リテハ前項ノ勤務ヲ最寄部隊ニ依託ス

步兵部隊ノ擔架衛修業者ハ所要ニ應ジ患者ノ輸送ニ任ズ

第百九十九 軍醫ハ軍醫携帶囊及瓦斯治療囊ヲ、衛生下士官ハ醫療囊及瓦斯治療囊ヲ、衛生兵ハ繃帶囊及瓦斯治療囊ヲ携帶ス

將校以下ハ繃帶包及消（除）毒包ヲ携帶ス

各部隊ノ衛生材料ハ隊醫極、隊瓦斯醫極、擔架、傷者用防毒面及衛生濾水機トシ通常歩兵隊ニ在リテハ彈藥班ニ、戰車及砲兵隊ニ在リテハ段列ニ、

衛生 人衛生

九一

0690

1932

衛生 人衛生

九二

工兵隊ニ在リテハ器材小隊ニ携行ス
各部隊ノ行李ニ携行スル豫備被服中ニハ患者用毛布若干ヲ有ス
作戦地ノ状況ニ依リ前諸項ノ外特別ノ材料ヲ携行セシメラルコトアリ
第二百 患者收容隊ハ戦闘ニ際シ第一線ニ進ミテ傷者ノ收容及後送ヲ行フ
ヲ以テ主要ナル任務トス
衛生隊ハ所要ニ應ジ野戦病院、患者療養所等ヲ開設シ戦場ニ於ケル治療ヲ
行フヲ以テ主要ナル任務トス
防疫給水部ハ師團ノ防疫、防疫給水等ニ任ズ
第二百一 兵站衛生隊ハ衛生隊ト交代シ或ハ増援シテ之ガ推進ニ任ジ或ハ
後方ニ開設シテ後送セラレタル患者竝ニ兵站管区内ニ於ケル患者ヲ治療シ
其ノ戦地回復ヲ圖ルヲ以テ主要ナル任務トス之ガ爲適宜ノ地ニ兵站病院、
患者療養所、患者集合所ヲ開設シ又兵站主地等ニハ傳染病院其ノ他ノ特
殊病院ヲ設置スルコトアリ

1691

1275

患者輸送隊ハ主トシテ衛生隊ヨリノ患者後送ニ任ズ
野戰防疫給水部ハ防疫、防毒、防疫給水等ニ任ズ

第二百二 患者集合所、野戰病院、兵站病院等ノ位置ニハ赤十字旗ト國旗トヲ併セ植立シ夜間ハ更ニ赤十字燈ヲ掲ゲテ標示ス然レドモ之ガ爲我ガ軍ノ配備等ヲ敵ニ暴露セザルヲ要ス戰線ニ近キモノニ在リテ特ニ然リ

第二節 駐軍間ノ勤務

第二百三 駐軍間ニ於テハ各級指揮官ハ勉メテ軍隊戰力ノ増強ヲ圖ルコト緊要ナリ之ガ爲志氣ヲ振作シ給養、休養ヲ適切ナラシメ衛生教育ヲ行ヒ且衛生施設ヲ完備シ以テ不良ナル環境ノ感作ヲ克服シ保健、防疫及防毒ニ勉ムルヲ要ス

第二百四 駐軍間傳染病發生スルカ或ハ患者多發スルトキ若クハ此等ノ虞大ナルトキハ各部隊ノ將校、衛生部員等ヲ以テ防疫委員ヲ編成シ之ガ防遏

衛生 人衛生

九三

ニ任ゼシム

第二百五 駐軍間ノ患者收療ノ爲師團長ハ所要ニ應ジ衛生隊ヲシテ野戰病院ヲ開設セシメ或ハ患者療養所ヲ設置セシム又各部隊ハ休養室ヲ設ケ輕症患者ヲ收療ス此ノ際地方ノ病院或ハ之ニ類スル建物、材料等ヲ利用スルノ著意ヲ必要トス

第二百六 駐軍間絶エズ地方住民ノ衛生狀態ニ注意シ其ノ衛生施設、衛生思想ノ向上ヲ圖リ調達物資ノ検査ヲ嚴ニスルヲ要ス之ガ爲要スレバ軍隊指導ノ下ニ地方官憲等ヲ以テ衛生委員ヲ編成セシムルヲ可トス

第三節 行軍間ノ勤務

第二百七 軍醫ハ行軍ニ方リテハ行軍病ノ豫防及其ノ救急處置ニ遺憾ナキヲ期スルト共ニ行軍間ノ給養ニ關シ狀況ニ適應スル如ク關係責任者ト密ニ連繫シ又檢水ヲ嚴ニシ給水源、給水量等ニ關シ所要ノ意見ヲ具中スルヲ要

1592

1201

1593

ス

第二百八 師團長ハ師團ノ前進ニ方リ防疫給水部ヲシテ機ヲ失セズ要點ニ躍進セシメ迅速ニ諸般ノ給水準備ニ任ゼシムルヲ要ス此ノ際防疫給水部ヲ各縦隊ニ分屬スルヤ否ヤハ狀況特ニ給水源ノ有無、交通ノ難易等ヲ考慮シ之ヲ定ムルヲ要ス

第二百九 行軍間發生シタル患者ハ勉メテ之ヲ伴ヒ行クベシ若シ最寄衛生機關ニ送致シタル場合ニ於テハ關係軍醫部若クハ最寄兵站地ノ長ニ通報スルモノトス

師團長ハ行軍間患者收容ノ爲隸下衛生機關或ハ隊附衛生部員其ノ他ヲ以テ患者收容班ヲ編成シ狀況ニ依リ患者車、患者自動車等ヲ各部隊ニ配屬ス又狀況之ヲ許セバ豫メ行軍路上ノ要點ニ患者收容所ヲ設置スルヲ可トス

第四節 戦闘間ノ勤務

衛生 人衛生

九五

第二百十 隊附軍醫ハ所屬部隊ノ戦闘開始ニ先ダテ全般ノ狀況ヲ豫察シ傷者收療ノ時期及方法ヲ立案シ且衛生材料ノ補充等ニ勉ムルヲ要ス

第二百十一 戦闘ニ方リテハ隊附軍醫以下ハ戦線ニ進出シ救急ノ處置ニ從フ

戦闘激烈ニシテ傷者續出スルニ至レバ所要ニ應ジ歩兵隊ハ其ノ隊附衛生部員ノ一部、補助擔架兵及衛生材料ヲ以テ繃帶所ヲ開設シ傷者ヲ收療ス狀況ニ依リ隣接部隊ノ衛生部員ト合同シテ繃帶所ヲ開設スルコトアリ

繃帶所ハ成ルベク戦線ニ近ク敵眼、敵火ニ掩蔽シ交通便利ニシテ瓦斯ノ滞留ヲ避ケ得ル地點ニ之ヲ選定シ又爲シ得レバ風雨寒暑ヲ防グニ便ニシテ掩蔽物、水及温存材料ヲ得易キ所ヲ可トス

繃帶所ノ勤務員ハ輕装シ補助擔架兵ハ擔架及所要ノ衛生材料ヲ携ヘテ戦線ニ前進シ傷者ノ收容及救護ニ任ズ

繃帶所ニ收容シタル患者中戦闘ニ堪フル者ハ必要ナル處置ヲ施シタル後直

1594

1594

1595

チニ戦線ニ復歸セシメ其ノ他ハ徒歩又ハ擔送ニ依リ後方衛生機關ニ到ラシム
繙帶所ハ部隊ノ移動ニ伴ヒ速カニ傷者ヲ後續衛生機關ニ引繼ギ又ハ之ト交代シタル後閉鎖追隨スルカ或ハ他ノ地點ニ移動開設ス
繙帶所ノ開設ヲ豫期スル場合ニ於テハ豫メ補助擔架兵ヲ集メ置クヲ可トス
第二百十二 戰車、騎兵、砲兵及工兵隊附衛生部員ハ戰闘ニ際シ所屬部隊長所命ノ地點ニ位置シ傷者ノ收療ニ任ズ但シ此等ノ隊附衛生部員ハ狀況ニ依リ最寄步兵隊附衛生部員ト合同シテ作業スルコトアリ
第二百十三 師團長戰闘ヲ豫期セバ患者收容隊ヲ戰線ニ進メ機ヲ失セズ傷者ノ收容、後送ニ任ゼシム狀況ニ依リ患者收容隊ヲシテ患者集合所ヲ設ケシムルコトアリ
師團長ハ要スレバ患者收容隊ノ一部或ハ戰闘救護班ノ若干ヲ第一線部隊ニ配屬スルコトアリ

衛生 人衛生

九七

戰岡救護班ハ第一線ニ於テ救護ニ任ズルヲ通常トシ主トシテ軍醫以下若干ノ衛生部員ヨリ成リ患者收容隊長其ノ人員、材料ヲ以テ之ヲ編成スルモノトス

第二百十四 師團長ハ戰岡ヲ開始スルニ方リ通常衛生隊ヲシテ所要ノ位置ニ野戰病院ヲ開設シ戰線ヨリ來ル患者ノ收容、初療ノ普及、完成等ニ任ゼシム狀況ニ依リ其ノ一部ヲ戰線ニ近ク挺進開設セシムルコトアリ

野戰病院ノ位置選定ノ要領ハ繙帶所ニ準ズルノ外特ニ我方軍ノ配備ニ適應シ且所要ノ地積ヲ有シ收療ニ便ナルヲ要ス狀況之ヲ計セバ成ルベク建物ヲ利用スルヲ可トス

第二百十五 軍隊追撃ニ移ルヤ諸般ノ手段ヲ講ジ戰場ニ殘留セル傷者ノ收療ニ勉メ以テ果敢ナル追撃ヲ促進セザルベカラズ之ガ爲師團長ハ豫メ待機シアル衛生機關ヲシテ速カニ追撃隊ニ續行セシムルト共ニ戰線ニ在リテ作業シアル衛生機關ヲシテ速カニ傷者ヲ後方衛生機關ニ引續ギテ追及セシメ

以テ追撃間及爾後ノ戰鬪ニ於ケル傷者ノ收療ニ遺憾ナカシムルヲ要ス
第二百十六 軍司令官ハ兵站衛生隊ヲ適時戰場ニ前進セシメ師團衛生機關
 ノ交代前進ヲ促進シ或ハ其ノ一部ヲ師團ニ配屬スルコトアリ
 患者輸送隊ハ其ノ全力ヲ舉ゲテ傷者ヲ後送シ師團ノ追撃行動ヲ輕快ナラシ
 ムルヲ要ス

第二百十七 退却ニ決スルヤ師團長ハ先ヅ衛生隊ニ的確ナル命令ヲ與ヘ輸
 送機關ヲ配當シテ後方ニ移動セシメ又各部隊及其ノ他ノ衛生機關ヲシテ戰
 場ニ在ル傷者ヲ極力收容、後送セシム之ガ爲豫備車輛、空車輛等有ユル輸
 送具ノ利用ニ勉ムベシ此ノ際死傷者ハ萬難ヲ排シ敵手ニ委セザル如ク勉ム
 ルヲ要ス
第二百十八 戰場ニ在ル衛生機關ハ常ニ自ラ警戒シ不慮ノ敵襲ニ備フルノ
 著意ヲ必要トス

第二章 馬衛生

要 則

第二百十九 馬衛生ノ良否ハ軍隊ノ戰鬥力ニ影響スルコト極メテ大ナリ故ニ各級指揮官ハ常ニ馬衛生機關ノ部署ヲ適切ニシ又幹部以下馬衛生勤務ヲ確實良好ナラシメ且馬ヲ愛護スルヲ要ス飼料ニ乏シク且疫癘蔓延セル作戰地ニ於テ特ニ然リ

第二百二十 馬衛生勤務ニ於テハ馬其ノ他軍用動物ノ保健、防疫、傷病馬ノ收療、裝蹄、敵ノ科(化)學戰ニ對スル馬衛生、獸醫材料及蹄鐵ノ補給等ノ業務ヲ行フモノトス

第二百二十一 馬衛生機關ニ收容セラレタル傷病馬回復セバ其ノ所屬部隊ニ復歸セシムベキモノトス

1598

6651

1000

第一節 馬衛生機關

第二百二十二 隊附獸醫ハ隊長ノ命ヲ承ケ關係諸官ト密ニ連繫シ部隊ノ馬衛生勤務ニ關シ計畫、調査、指導及之ヲ實施ニ任ズ

獸醫及獸醫務下士官ヲ有セザル部隊ノ馬衛生勤務ハ最寄部隊ニ依託ス、獸醫ハ馬其ノ他軍用動物ノ保健、診療、防疫、防毒及裝蹄業務ニ從事シ又飼料、飲水ノ適否ニ注意シ食獸、食肉ノ検査ヲ行ヒ生獸ヲ携行スルトキハ其ノ衛生及治療ニ任ズ

第二百二十三 獸醫ハ獸醫携囊及化兵症囊中ヲ、獸醫務下士官ハ馬療囊甲及化兵症囊乙ヲ、蹄鐵工兵ハ携帶蹄鐵工具及馬療囊乙ヲ携帶ス

各部隊ノ獸醫材料ハ獸醫行李(山砲兵隊以外ノ砲兵隊ニ在リテハ獸醫扱)、化兵獸醫行李及野戰蹄鐵工具トス而シテ獸醫行李(獸醫扱)及化兵獸醫行李ハ歩兵隊ニ在リテハ彈藥班ニ、砲兵隊ニ在リテハ段列ニ、工兵隊ニ在リテ

ハ器材小隊ニ携行シ野戰踏鐵工具ハ行李又ハ段列ニ携行ス
 作戦地ノ狀況ニ依リ前諸項ノ外特別ノ材料ヲ携行セシメラルコトアリ
 第二百二十四 師團病馬廠騎兵旅團病馬廠ヲ含ム以下同ジハ傷病馬ヲ收容シテ部隊ノ繁累ヲ
 除クト共ニ傷病馬ノ診療ヲ行フヲ以テ主要ナル任務トシ併セテ部隊ノ防疫
 及裝蹄ヲ援助シ所要ニ應ジ馬、獸醫材料及蹄鐵ノ補給ニ任ズ
 第二百二十五 兵站病馬廠ハ通常師團病馬廠ト交代シテ傷病馬ヲ收療シ師
 團病馬廠ノ推進ニ任ズルモ狀況ニ依リ一部ハ比較的長ク一地ニ開設シ施設
 ヲ完備シ以テ傷病馬特ニ過勞、瘦削馬等ノ回復ヲ圖ル
 野戰軍馬防疫廠ハ馬及其ノ他軍用動物ノ保健、防疫ニ任ズルノ外部隊ノ檢
 疫、消毒等ノ馬衛生勤務ニ任ズ
 第二百二十六 開設セル師團病馬廠、兵站病馬廠等ノ位置ニハ標旗又ハ燈
 火ヲ掲ゲテ其ノ所在ヲ明瞭ナラシムルヲ可トス

第二節 駐軍間ノ勤務

第二百二十七 駐軍間ニ於テハ各隊ハ假既、病馬既等ヲ設ケ特ニ榮養ノ回復及傷病馬ノ完全ナル診療ニ勉ム然レドモ長ク治療ヲ要スルモノハ最寄ノ師團病馬廠又ハ兵站病馬廠ニ送致スルヲ可トス

第二百二十八 駐軍間傳染病其ノ他病馬多發セルトキ若クハ其ノ處大ナルトキハ各部隊ノ將校、馬衛生勤務員等ヲ以テ馬防疫委員ヲ編成シ之ガ防遏ニ勉ムル等應急處置ニ遺憾ナカシムルト共ニ機ヲ失セズ野戰軍馬防疫廠若クハ兵站病馬廠等ニ之ガ防遏ヲ依頼スルノ著意緊要ナリ

野戰軍馬防疫廠ハ各部隊ト密ニ連繫シ部隊ノ防疫ヲ徹底セシムルト共ニ絶エズ地方家畜ノ衛生状態ニ注意シ之ガ傳染病ノ防遏ニ勉メ軍用動物ノ現地資源ノ確保ヲ圖ルヲ要ス

第三節 行軍間ノ勤務

第二百二十九 行軍間病馬ノ多發ヲ豫期スル場合ニ於テハ豫メ各部隊ハ病馬救護班ヲ設ケ病馬ヲ救護シツツ部隊ニ跟隨セシム此ノ際隨伴シ難キモノハ適宜ノ地點ニ一團ト爲シ最寄部隊ニ委託スルカ又ハ馬收療機關ニ引繼ギ之ヲ關係獸醫部若クハ最寄兵站地ノ長ニ通報ス

第二百三十 行軍間多數ノ病馬發生スルモ未ダ兵站地設置ニ至ラズ又其ノ附近ニ兵站病馬廠開設セラレザルトキハ師團長ハ適宜ノ地點ニ師團病馬廠ヲ開設シ病馬ヲ收容シ以テ部隊ノ前進ニ妨ナカラシム而シテ師團病馬廠ハ兵站病馬廠ノ前進ヲ待チテ連カニ病馬ヲ之ニ引繼ギ前進ス

第四節 戦闘間ノ勤務

第二百三十一 戦闘間傷病馬救護ノ爲通常各歩、砲兵聯隊ヲ中心トシ之ニ

169T

100T

809T

1200

配屬若クハ隣接スル部隊合同シ病馬救護所ヲ開設ス
 戰團間各部隊ハ自隊ノ人員、材料ヲ以テ傷病馬ヲ戰線ニ於テ救護スルモノ
 ト病馬救護所ニ於テ救護スルモノトニ區分シ戰線ニ於テ救護スルモノニ對
 シテハ成ルベク其ノ集結シアル附近ヲ巡回シ救急ノ處置ヲ講ジ所要ノモノ
 ヲ病馬救護所ニ送致スルモノトス
 病馬救護所ノ位置ハ各聯隊ノ彈藥班若クハ段列等ノ附近ニ於テ傷病馬ノ收
 容ニ適シ且地物ノ利用ニ便ナル如ク選定スルヲ要ス而シテ病馬救護所ニ收
 容セル傷病馬ハ必要ナル治療ヲ施セル後輕症ニシテ戰團ニ堪フルモノハ直
 チニ戰線ニ復歸セシメ戰團ニ堪ヘザルモ回復ノ見込アルモノハ成ルベク之
 ヲ取纏メ適時病馬集合所病馬救護所ヨリ師團病馬廠ニ到ル傷病馬ノ集合ニ便ナラ
 若クハ師團病馬廠ニ後送スルカ又ハ進出セル此等馬收療機關ニ引繼グ
 病馬救護所ハ所屬部隊ノ前進ニ方リ未ダ後方ヨリ馬收療機關到著セザルト
 キハ傷病馬ト共ニ所要ノ人員ヲ殘置シ其ノ他ハ迅速ニ所屬部隊ニ追隨ス

衛生 馬衛生

第二百三十二 師團長戰鬪ヲ豫期スルトキハ師團病馬廠ノ全部若クハ大部ヲ成ルベク速カニ前進セシメ戰線ノ後方適宜ノ地點ニ開設シ病馬救護所又ハ直接戰線ヨリ來ル傷病馬ヲ收療セシム爾後戰鬪ノ進捗ニ伴ヒ逐次躍進シ病馬救護所ヲ推進スルト共ニ其ノ移動診療班及裝蹄班ヲシテ絶エズ前線ニ進出シテ部隊ノ診療及裝蹄ヲ援助セシム

師團病馬廠ヲ開設スル位置ハ傷病馬ノ多發スベキ方面ニ於テ成ルベク戰線ニ近ク敵眼、敵火ニ掩蔽シ傷病馬ノ收容及後送ニ便ニシテ水及藁稈類ヲ得易ク且適當ナル馬繫場ヲ有スルヲ可トス而シテ彈藥交付所附近ニ開設シ得バ便ナルコトアリ

第二百三十三 軍隊追撃ニ移ルヤ師團長ハ師團病馬廠ヲシテ成ルベク速カニ病馬救護所其ノ他前線ニ在ル傷病馬ヲ收容シ之ヲ兵站病馬廠ノ收容班ニ引繼ガシム然レドモ其ノ一部ヲシテ直チニ部隊ニ跟隨シ爾後發生スル傷病馬ヲ收容セシム

1604

1605

1606

退却ニ決スルヤ師團長ハ速カニ師團病馬廠ニ的確ナル命令ヲ與ヘ後方ニ移動セシム此ノ際師團病馬廠長ハ收容馬ヲ適宜數團ニ分チ引率者ヲ定メ戰鬪部隊ノ行動ヲ妨ゲザルヲ要ス

第二百三十四 軍司令官ハ兵站病馬廠ヲ適時戰場ニ前進セシメ師團病馬廠ト交代シ或ハ自ラ傷病馬ノ收容ニ任ゼシメ又野戰軍馬防疫廠ヲシテ所要ニ應ジ前線ニ進出シ直接部隊ノ防疫ニ協力セシム

第二百三十五 戰場ニ在ル馬衛生機關ハ常ニ自ラ警戒シ不慮ノ敵襲ニ備フルノ著意ヲ必要トス

衛生 馬衛生

一〇七

909T

T802

衛生 馬衛生
二〇八

第四篇 兵 站

第二百三十六 兵站ノ主眼トスル所ハ軍ヲシテ常ニ其ノ戰鬪力ヲ維持増進シ後顧ノ憂ナク其ノ全能力ヲ發揮セシムルニ在リ而シテ作戰上必要ナル軍需品及馬ノ前送、補給、傷病人馬ノ收療及後送、要整理物件ノ處理、戰地資源ノ調査、取得及増殖、通行人馬ノ宿泊、給養及診療、背後連絡線ノ確保、占領地ノ行政等ハ兵站業務ノ重要ナル事項トス

第二百三十七 兵站業務ハ複雑多岐ニシテ勤モスレバ錯誤澁滞ヲ生ジ易ク其ノ實施ニハ統制ヲ要スルコト少カラズ故ニ軍隊ハ此等兵站ノ特性ヲ理解シ其ノ規定ヲ履行シ苟モ自隊ノ利害ヲ以テ全般ノ統制ヲ紊ルガ如キコトナキヲ要ス

第二百三十八 兵站業務實施ノ爲兵站線ヲ設定ス

兵站線ハ通常留守部隊所在地ニ發シ海路、鐵道、水路等ニ依リ軍ノ作戰地

兵 站

域ニ至ル而シテ軍ノ作戰地域ニ於テハ鐵道ノ利用ニ勉ムルモ陸路ヲ主トスル場合多ク狀況ニ依リ水路時トシテ空路ヲ利用ス

第二百三十九 兵站線上ニハ通常集積基地、集積主地、兵站主地及兵站地ヲ設定シ兵站業務ニ必要ナル諸機關ヲ配置シ且諸施設ヲ行フ

第二百四十 集積基地ハ通常内地主要ノ地點ニ設ケ同地ニ必要ノ機關ヲ置キ補給諸廠及留守部隊ヨリ出征部隊ニ輸送スベキ軍需品ヲ集積シ需要ノ緩急ヲ考慮シテ之ヲ集積主地等ニ前送シ又出征部隊ヨリ還送シ來ルモノヲ各、目的地ニ分送スル業務ニ任ズ

第二百四十一 集積主地ハ戰地又ハ外地主要ノ地點ニ設ケ同地ニ集積主地諸廠其ノ他必要ノ機關ヲ置キ集積基地等ヨリ出征部隊ニ前送スベキ軍需品ヲ集積シ需要ノ緩急ヲ考慮シテ之ヲ兵站主地ニ前送シ又出征部隊ヨリ還送シ來ルモノヲ收容、整理シ或ハ之ヲ集積基地等ニ後送スル業務ニ任ズ

第二百四十二 兵站主地ハ軍作戰地域内ノ交通便利ナル地點ニ設ケ同地ニ

通常兵站地區司令部、軍補給諸廠、兵站衛生諸機關其ノ他必要ノ機關ヲ置
キ軍需品ノ集積、管理、前送、後送及修理、傷病人馬ノ收療等ノ業務ヲ實
施シ軍補給ノ原點ヲ成形ス

第二百四十三 兵站地ハ兵站地區司令部、同支部又ハ同出張所ノ位置スル
所ニシテ輸送機關其ノ他通行人馬ノ宿泊、給養及診療、警備、交通、通信
施設ノ保護等ノ業務ニ任ズ

兵站末地其ノ他必要ナル兵站地ニハ所要ニ應ジ軍補給諸廠ノ支廠又ハ出張
所、兵站衛生機關、通信所、野戰郵便局又ハ同分局等ヲ開設ス

第二百四十四 軍司令官ハ軍作戰地域ヲ通常師團作戰地域ト軍直轄管區ト
ニ分テ概ネ兵站末地ヲ連ヌル線ヲ以テ其ノ境界ト爲ス

軍直轄管區ハ通常之ヲ若干ノ兵站地區ニ區分ス

第二百四十五 兵站地區隊長ハ兵站地區司令官トナリ部下兵站地區隊、配
屬セラレタル軍補給諸廠ノ支廠、同出張所、輸送部隊等ヲ指揮シ支部又ハ

1910

1907

兵站

一一二

出張所ヲ出シ兵站地區内ニ於ケル兵站業務ヲ擔任ス野戰輸送司令官兵站地區司令官ニ任ズル場合ニ於テモ之ニ準ズ
兵站地區司令部、同支部及同出張所ハ晝間ハ標旗（白地ニ軍隊符號ヲ明記ス）ヲ以テ夜間ハ之ニ紅色ノ燈火ヲ併用シテ標示ス

第二百四十六 軍需品ノ輸送ハ兵站地區司令部配屬セラレタル輸送部隊ヲ以テシ或ハ野戰輸送司令官兵站地區司令部令官統一シ或ハ此等ヲ併用シテ之ヲ實施スルモノトス而シテ輸送品ノ授受及監視等ニ關シテハ直接之ガ輸送ニ任ズル部隊ノ長其ノ責ニ任ズ但シ宰領者ヲ附シアル物件ノ授受ニ關シテハ該宰領者其ノ責ニ任ズルモノトス

第二百四十七 師團ニ對スル軍需品ノ補給ハ補給點ニ於テ兵站ノ補給擔任部隊（軍補給諸廠、同支廠及同出張所或ハ補給ヲ擔任セシメラレタル兵站地區司令部野戰輸送司令部）之ヲ行フヲ通常トス

第二百四十八 師團作戦地域（軍直轄管區）内ニ行動スル兵站（師團）ノ輸送部隊ハ其ノ行動ニ關シ當該輜重兵聯隊長（兵站地區司令官若クハ野戰輸送

1191

司令官ノ區處ヲ受クルモノトス

第二百四十九 軍直轄管區警備ノ要ハ輸送ヲ安全ニシ補給ヲ完ウスルニ在リ而シテ其ノ警備ハ寡兵ヲ以テ通常長遠廣大ナル地域ニ互リ實施セザルベカラズ而モ兵站ハ屢敵ノ攪亂又ハ空襲ノ目標トナリ時トシテ空輸挺進隊等ノ攻撃ヲ受クルコトアリ故ニ特ニ志氣ヲ振作シ搜索、諜報ノ手段ヲ盡クシ居常四圍ノ情勢ヲ明カニシ工事ヲ施シ連絡施設ヲ完備シ兵力ノ機動ヲ準備シ對空處置ヲ講ズル等警備ニ遺憾ナキヲ要ス而シテ戰鬪ニ際シテハ兵站地ニ固著スルコトナク進ンデ敵ヲ擊滅スルヲ利トスルコト少カラズ

狀況ニ依リ輸送機關ノ直接護衛ノ兵力ヲ增強シテ輸送ヲ強行スルヲ要スルコトアリ

第二百五十 兵站地區司令官ハ通常兵站地區ノ警備ヲ統一實施スルモノトス之ガ爲警備ニ關スル規定ヲ定メ又特ニ定メラレタルモノノ外兵站地區内ノ指揮下ニ在ラザル兵站部隊等ヲ區處スルコトヲ得

兵站

一一三

軍司令官ハ警備ノ爲所要ノ部隊ヲ兵站地區司令官ニ配屬シ或ハ更ニ直轄ノ警備隊ヲ以テ警備ニ任ゼシムルコトアリ

第二百五十一 軍作戦地域ノ防空ハ通常高級指揮官統一ノ下ニ行ハルモノトス兵站地區司令官防空機關ヲ配屬セラレタル場合ニ於テハ之ヲ直轄使用シ所要ニ應ジ部下部隊ニ分屬ス

各種施設ノ防空ニ方リテハ偽裝ヲ適切ニシテ敵ヲ欺騙シ或ハ分散配置ニ依リ被害ヲ少カラシムルコト緊要ナリ此ノ際、偽施設ヲ行フヲ有利トス

第二百五十二 兵站線ヲ通行スル軍隊及軍人、軍屬ニハ軍用旅券ヲ携帯セシメ以テ兵站線ヲ通行シ且宿舍其ノ他ノ供給ヲ受ケ得ルノ證クラシム而シテ軍用旅券ハ高等司令部、兵站地區司令部、同支部及同出張所ニ於テ之ヲ發行スルモノトス但シ軍事鐵道機關(軍事船舶機關)ノ管轄スル鐵道(船舶)ニ依リ輸送セラルル者ニハ軍用輸送券若クハ便乘券ヲモ併セ携帯セシム

兵站線通行中軍用旅券ニ掲載シアル人馬及携行品ノ員數等ニ差異ヲ生ジク

1613

ルトキハ兵站地區司令部、同支部若クハ同出張所ニ就キ掲載事項ノ訂正ヲ受クルモノトス

兵站地ノ長ハ要スレバ軍用旅券ト對照シテ通行人馬ヲ點檢スルコトヲ得

第二百五十三 軍隊指揮官及軍人、軍屬ハ兵站地ニ到着スルヤ直チニ兵站地區司令部、同支部若クハ同出張所ニ届告シ軍用旅券ヲ示シ必要ノ指示ヲ受クルモノトス

軍隊及軍人、軍屬ハ兵站地ノ長ノ定ムル兵站業務上ノ諸規定ヲ遵守スベキモノトス又其ノ任務ニ支障ナキ限り兵站地ノ勤務ニ協力スルヲ要ス

軍隊及軍人、軍屬ハ特ニ定メラレタルモノノ外兵站地ノ長ノ同意ヲ得ルコトナク兵站地區内ニ於テ物件ヲ調達シ又ハ妄リニ兵站地區内ノ通信機關及兵站施設ヲ使用スベカラズ

第二百五十四、大ナル軍隊兵站線ヲ通行シ若クハ一時兵站地ニ位置スル場合ニ於テハ當該軍隊指揮官及兵站地區司令官ハ其ノ行軍、宿營、給養等ニ

兵站

一一五

關シ各、上級指揮官ヨリ豫メ命令ヲ受領シ之ニ基キ所要ノ準備ヲ行フモノ
トス而シテ其ノ宿營設備ハ當該軍隊自ラ之ニ任ジ糧秣中主要ナルモノハ兵
站之ヲ補給シ其ノ他ハ當該部隊自ラ調達スルニ便ナル如ク兵站ニ於テ豫メ
準備スルヲ通常トス

第二百五十五 各部隊ハ一時不用又ハ擧行不能ノ爲後方ニ殘置スル荷物等
ハ關係補給諸廠又ハ兵站地區隊等ニ其ノ保管ヲ依託シ或ハ監視者ヲ附シテ
自ラ保管スルモノトス而シテ保管ノ依託ヲ受ケタル者ハ倉庫又ハ地區ヲ指
定シテ之ガ保管ニ任ジ監視者アル場合ニ於テモ勉メテ之ヲ援助ス

第二百五十六 兵站地ノ長ハ警備上緊急ノ場合ニ於テハ兵站線ヲ通行スル
軍隊及軍人、軍屬ヲ自己ノ責任ヲ以テ一時使用スルコトヲ得但シ軍隊指揮
官ニシテ兵站地ノ長ヨリ高級先任ナルトキハ刻下ノ狀況ヲ具申シテ其ノ援
助ヲ請フモノトス此ノ際之ニ應ズベキヤ否ヤハ當該指揮官自己ノ責任ヲ以
テ決ス

1614

1010

兵站地ノ長ハ要スレバ兵站地ヲ通行スル軍人、軍屬將校、各部將校及フ一時高等文官ヲ除ク
 兵站地ニ留メ且指揮者ヲ定メテ引率セシムルコトヲ得
 第二百五十七 兵站地ノ長ハ其ノ擔任スル兵站地區内ニ位置シ又ハ通行ス
 ル軍人、軍屬ノ軍紀、風紀ヲ維持スル爲所要ノ規定ヲ設クルコトヲ得
 第二百五十八 兵站地ノ長ハ其ノ擔任スル地區内ノ通行人馬ノ診療ヲ擔任
 シ殘置セル患者及病馬ヲ收療ス但シ軍醫(獸醫)ヲ有スル部隊ニ對シテハ所
 要ニ應ジ診療ヲ援助ス
 第二百五十九 郵便物ハ各種ノ手段ヲ盡クシ速カニ之ガ前送、分配ヲ圖ル

1616

1616

兵站

一一八

第五篇 戰場掃除

第二百六十 戰場掃除ノ目的ハ戰闘後戰線ノ近傍ヲ搜索シ死傷者ニ對シ速カニ適當ナル處置ヲ行ヒ併セテ死傷馬ノ收容、情報收集、無賴者ノ掠奪防止、殘置又ハ遺棄物ノ收集等ヲ行フニ在リ

第二百六十一 戰場掃除ハ軍ヨリ派遣スル戰場掃除班等之ニ任ズルノ外師團長ハ適時兵器勤務隊、經理勤務班等ヲ派遣シ又狀況ノ許ス限り各部隊ヲシテ戰場掃除班ヲ編成シ各、其ノ行動地域内ノ戰場掃除ニ任ゼシム止ムヲ得ズ其ノ地ニ於テ戰闘セザリシ部隊ヲシテ戰場掃除ニ任ゼシムルコトアルモ死者ノ處置ノ爲ニハ爲シ得ル限り其ノ地ニ於テ戰闘セル部隊ヨリ所要ノ人員ヲ參加セシムルコト緊要ナリ

第二百六十二 傷者ハ我ガ軍ノ者タルト敵軍ノ者タルトヲ問ハズ應急手當ヲ施シ速カニ最寄ノ病院等ニ送致ス

傷馬ハ前項ニ準ジテ處置スルカ若クハ適宜處分ス

第二百六十三 死者ニ對シテハ被服ノ標記、認識票等ニ依リ爲シ得ル限リ其ノ氏名、身分、階級、所屬部隊等ヲ調査シ死亡原因、地點、日時（推定ノトキハ其ノ旨ヲ附記ス）竝ニ收容日時ヲ明カニシ收容者ノ自署セル證書ヲ作り通常火葬（敵軍ノ者ハ通常埋葬）ニ附スルモノトス此ノ際遺留品中私有物ハ遺族ノ爲重要ナル遺品ナルニ鑑ミ成ルベク將校監督ノ下ニ些細ノ物ト雖モ取纏ムルノ著意ヲ必要トス

斃馬ニ在リテモ前項ニ準ジ馬名、所屬部隊、斃死原因、地點、日時ヲ調査整理ノ上爲シ得レバ埋葬スルヲ可トス

前諸項ノ證書ハ成ルベク火葬（埋葬）ヲ取扱フベキ部隊ノ將校、下士官若クハ軍醫又ハ獸醫之ヲ調製自署シ我方軍ノモノニ在リテハ速カニ其ノ所屬部隊長ニ報告又ハ通報スルモノトス

第二百六十四 我方軍ニ屬スル者ノ遺留品中私有物ハ本人ノ遺骨（遺髪）ト

1918

6T9T

1938

共ニ一包ト爲シ其ノ氏名、階級止ムヲ得ザレバ認識票番號及所屬部隊ヲ記載シ所屬部隊毎ニ纏メ順序ヲ經テ留守部隊ニ後送シ敵軍ノモノニ在リテハ證書ト共ニ通常兵站部隊ニ引繼グモノトス

第二百六十五 毀損、殘置又ハ鹵獲セル軍需品或ハ再用可能ノ物件ハ縱ヒ直チニ利用セザルモノト雖モ速カニ之ヲ回收スルニ勉ムルコト緊要ナリ之ガ爲各部隊ハ先ヅ自力ヲ以テ之ヲ收集シ又ハ散逸ヲ防止スルヲ要ス

第二百六十六 收集セル兵器、被服、糧秣、燃料、金櫃、馬等ハ彼我兩軍ノモノニ分テ目錄ヲ調製シ報告ス而シテ現品ハ適當ノ地點ニ集積シ兵站部隊ニ引繼ギ重要書類ハ速カニ高等司令部ニ送附スルモノトス

死者ノ携帶兵器、銃砲ノ打殼藥莢、燃料罐等モ爲シ得ル限り前項ニ準ジ處置スルヲ可トス

不發ノ彈丸及爆藥等ノ危險品竝ニ撤毒地域ヲ發見セバ之ヲ標示シテ上級指揮官ニ報告ス

戰場掃除

一一一

1620

1620

戦場掃除

一二二

第二百六十七 鹵獲セル兵器、材料等ニシテ特殊ノモノハ貴重ナル情報資料タルベキヲ以テ機ヲ失セズ高級指揮官ニ報告シ又技術上ノ研究ニ資スル爲其ノ一部ヲ後送スルヲ要ス

（以下は非常に小さい文字で記述された内容が続き、主に戦場の状況や兵器の鹵獲に関する詳細な報告と分析と思われる。）

第六篇 氣象

第二百六十八 氣象勤務ノ目的ハ作戰地ニ於ケル氣象狀態ヲ明カニシ主トシテ航空作戰ノ指導ニ資シ且一般作戰特ニ射撃、瓦斯防護、船舶及舟艇ノ行動等ノ爲必要ナル資料ヲ得ルニ在リ

第二百六十九 氣象勤務ノ要ハ氣象判斷ノ正鵠ヲ得且機ヲ失セズ必要ナル資料ヲ關係部隊ニ提供シ之ヲ活用セシムルニ在リ

氣象判斷ハ通常廣範圍ニ互リ立體的ニ各地ノ氣象狀態ヲ綜合比較スルノ外過去ノ統計等ヲ較量參酌シテ始メテ其ノ適正ヲ期シ得ルモノトス故ニ氣象勤務ニ服スル者ハ常ニ各種氣象機關ト密接ナル聯繫ヲ保持スルノミナラズ自ラ廣ク氣象ニ關スル情報ヲ收集スルト共ニ速カニ記錄ヲ整理シテ當該地方ニ於ケル氣象ノ特質ヲ明カニシ以テ其ノ判斷ノ完璧ヲ期セザルベカラズ

第二百七十

高級指揮官ハ軍氣象機關ノ配置、軍氣象機關ト既設氣象機關

トノ協同連繫、一般作戰ノ爲ノ氣象勤務及之ト航空作戰ノ爲ノ氣象勤務トノ相互關係、各種氣象報、時報ノ時期及通報ノ方法、氣象機關ニ對スル兵器、器材其ノ他ノ補給等ニ關シ全般ノ氣象勤務ヲ律ス而シテ航空作戰ノ爲ノ氣象勤務ニ關シテハ航空最高級指揮官ヲシテ軍及既設ノ氣象機關等ヲ區處セシムルモノトス

氣象機關ヲ有スル各級指揮官ハ上級指揮官ノ規定ニ基キ前項ニ準ジ所要ノ事項ヲ規定ス

第二百七十一 野戰氣象隊長ハ部下野戰氣象部隊ヲ指揮シ且各部隊氣象機關、既設氣象機關等ノ氣象勤務ニ關スル技術的事項ヲ統制スルト共ニ各氣象機關ノ觀測成果ト内外氣象機關ノ氣象報トヲ綜合シテ氣象判斷ヲ實施シ且氣象報及時報ヲ發ス

前項ノ外野戰氣象隊長ハ作戰ニ關スル氣象ノ調査及統計等ノ業務ニ任ズ

第二百七十二 野戰氣象部隊ハ氣象上又ハ作戰上ノ要點ニ各種ノ氣象觀測

班ヲ配置シテ高層及地上氣象ヲ觀測シ其ノ成果ヲ野戰氣象隊長ニ報告スル
ト共ニ必要ナル氣象情報ノ收集、氣象判斷及所要ノ氣象放送ニ任ズ
第二百七十三 各司令部及本部ノ氣象班(氣象掛)ハ主トシテ當該部隊ノ作
戰ニ必要ナル氣象勤務ニ任ジ且其ノ觀測成果ヲ通報ス
第二百七十四 航空地區部隊ノ氣象班(氣象掛)ハ其ノ位置スル飛行場ニ於
ケル飛行部隊ノ爲必要ナル氣象勤務ニ任ジ且其ノ觀測成果ヲ通報ス
第二百七十五 砲兵情報隊ノ氣象勤務ヲ擔任スル部隊ハ砲兵射撃ノ爲必要
ナル氣象勤務ニ任ジ且其ノ觀測成果ヲ通報ス
第二百七十六 氣象報ハ實況氣象報、天氣豫報及警報氣象報ニ區分ス
實況氣象報ハ各地ニ於ケル所定ノ時刻ノ氣象狀態ヲ發表シ氣象判斷ノ資ニ
供スルモノニシテ通常一般、航空、對機、高層及氣流ノ各實況氣象報ニ區
分ス
一般實況氣象報ハ更ニ其ノ内容ヲ陸上實況氣象報及海上實況氣象報ニ分

チ記事トシテ通常天氣ノ概況、高(低)氣壓ノ位置、不連續線ノ狀態等所
要ノ事項ヲ附加シ以テ天氣圖ノ作製並ニ一般氣象判斷ニ資ス
航空實況氣象報ハ所要ノ地點ニ於ケル氣象實況ヲ速報スルモノニシテ要
度ニ應ジ頻繁ニ之ヲ行ヒ航空部隊ノ活動ニ資ス
對機實況氣象報ハ在空中ノ飛行機ニ對シ所要ノ氣象實況ヲ放送シ航空部
隊ノ活動ニ資ス

高層實況氣象報ハ氣溫、濕度等ノ狀態ヲ又氣流實況氣象報ハ風向及風速
ヲ各、高度別ニ報ジ航空部隊ノ活動ニ資スルノ外一般氣象判斷等ニ資ス
天氣豫報ハ一般天氣豫報、航空天氣豫報等ニ區分ス

一般天氣豫報ハ概ネ二十四時間以内ニ於ケル氣象狀態ノ豫想ヲ毎日數回
發表スルヲ通常トシ要スレバ拂曉、薄暮等ノ豫想ヲモ附加スルモノニシ
テ受報部隊ニ於ケル要度ヲ考慮シ天氣、氣溫、地上風、高層風、雲、視
程、霧等ノ景況其ノ他必要ナル事項ヲ適宜包含セシムルモノトス狀況ニ

1624

1625

氣象

依リ稍、長期ニ互ル氣象狀態ヲ豫想シ發表スルコトアリ
航空天氣豫報ハ通常所要ノ航路上ニ於ケル數時間以內ノ氣象狀態ノ豫想
ニ關シ前項ニ準ジ發表ス
粹報氣象報ハ氣象狀態險惡ニシテ作戰ニ大ナル影響ヲ及スト判斷セラルル
場合ニ於テ發表シ氣象狀態恢復スルヤ之ヲ解除ス
第二百七十七 氣象報ノ傳達ハ放送ニ依ルヲ通常トスルモ狀況ニ依リ有線
通信ヲ利用シ又天氣圖ヲ配布スル等ノ手段ニ依ルコトアリ
氣象放送ニ方リテハ暗號ヲ用フルヲ本則トシ一定ノ樣式ニ依リ通信ノ簡易
迅速ヲ圖ルモノトス而シテ敵ノ窺聽ヲ考慮シ展、使用暗號ヲ變更シ又ハ積
極的ニ敵ヲ欺騙スル等ノ處置ヲ講ズルノ著意ヲ必要トス
第二百七十八 敵地ノ氣象情報ハ勉メテ之ヲ窺聽利用スルコト緊要ナリ然
レドモ我方適正ナル判斷ト對照シ敵ニ欺騙セラレザルノ著意ヲ必要トス
第二百七十九 時報ハ通常毎日定時ニ正確ナル時刻ヲ一定ノ樣式ニ依リ放

一二七

1626

1632

送スルモノトス

氣象

一二八

1627

第七篇 憲兵

第二百八十 憲兵ハ戰地ニ於テ軍ノ任務達成ヲ容易ナラシムルヲ主眼トシ
概ネ左ノ任務ニ服スルモノトス

軍機ノ保護

間諜ノ檢索

敵ノ宣傳及謀略ノ警防

治安上必要ナル情報ノ收集

通信及言論機關ノ檢閲、取締

敵意ヲ有スル住民ノ抑壓

非違及犯則ノ取締

酒保及用達人等軍從屬者ノ監視

旅舍、郵便局、停車場等ノ監察

憲兵

憲兵ハ前項ノ外臨機ノ任務ニ服スルモノトス

第二百八十一 高級指揮官ハ憲兵ヲシテ遺憾ナク其ノ特性ヲ發揮セシムル如ク之ヲ統一シテ使用スルヲ通常トス狀況ニ依リ其ノ一部ヲ部下指揮官ニ配屬シ又ハ區處セシムルコトアリ

第二百八十二 憲兵部隊長ハ高級指揮官ノ企圖ニ基キ作戰ノ推移、軍隊ノ配置及行動、治安ノ狀況等ヲ考慮シ憲兵ノ服務ノ重點ヲ確定シ之ヲ部署ス
憲兵部隊長ハ其ノ主管事項ニ關シ高級指揮官ノ諮問ニ應ヘ且適時意見ヲ具申スルモノトス

第二百八十三 憲兵ハ常ニ各部隊ト緊密ナル聯繫ヲ保チ軍ノ必要ト戰地ノ實相トニ即應スル如ク任務ヲ遂行シ特ニ軍人、軍屬及軍從屬者ノ非違及犯罪ノ取締ニ方リテハ之ガ警防及處理ヲ適正ニシ各部隊ノ軍紀確立ニ協力シ以テ軍ノ威信發揚ニ遺憾ナキヲ期セザルベカラズ

第二百八十四 憲兵ハ軍人、軍屬ノ非違ヲ認メタル場合ニ於テ同級者以下

8291

629T

ニ對シテハ直チニ之ヲ矯正シ上級者ニ對シテハ其ノ旨ヲ告グ要スレバ所屬
部隊、官等級、氏名等ノ告知ヲ受ケ其ノ顛末ヲ所屬上官ニ通報スルモノト
ス
第二百八十五 軍隊及軍人、軍屬ハ憲兵ヨリ援助ノ請求アルトキハ任務ニ
支障ナキ限り之ニ應ズベキモノトス
第二百八十六 憲兵ノ勤務上ノ越權ヲ矯正シ得ルハ憲兵將校及其ノ所屬上
官ノ外佐官以上竝ニ中隊長及之ニ準ズル職務ヲ有スル者トス
第二百八十七 憲兵ノ分遣隊長以上ノ部隊長ハ狀況特ニ之ヲ要スレバ其ノ
地ニ在ル部隊ノ高級先任ノ指揮官ニ對シ補助憲兵配屬ノ請求ヲ爲スコトヲ
得此ノ際請求ヲ受ケタル指揮官ハ狀況ノ許ス限り之ニ應ズベキモノトス
補助憲兵ハ憲兵ノ指揮下ニ在リテ其ノ勤務ヲ補助スルモノトス
補助憲兵ハ白地ニ赤色ヲ以テ「憲兵」ノ二字ヲ記シタル腕章ヲ左腕ニ纏フモ
ノトス

憲兵

一三一

1630

1630

慈兵

一三三

第八篇 宣傳ノ實施及防衛

通則

第二百八十八 敵及敵側住民ノ交戰意志ヲ破摧シ或ハ我ガ行動ニ關シ敵ヲ欺騙シ或ハ戰地ノ住民ヲシテ我ノ道義ニ即スル行動ニ共鳴セシムル等作戰遂行ニ有利ナル情勢ヲ作爲スルハ軍ノ行フ宣傳ノ直接目標ナリ而シテ遂ニ我ガ武威ヲ傳ヘテ畏服セシメ武德ヲ及シテ悅服セシメ敵及敵側住民ヲシテ我ニ寄與スルニ至ラシムルコト緊要ナリ

宣傳ハ敵モ亦絶エズ之ヲ行フベキヲ以テ常ニ其ノ狀況ヲ明カニシ機ヲ失セズ所要ノ對策ヲ講ゼザルベカラズ

第一章 宣傳ノ實施

第二百八十九 宣傳ハ特殊ノ機關及各部隊之ヲ實施ス

宣傳ノ實施及防衛 通則 宣傳ノ實施

第二百九十 宣傳ノ爲ニハ上級機關ニ於テ先ヅ方針ヲ確立シ其ノ必要ナル點ハ關係諸機關及軍隊ノ末梢ニ至ル迄良ク之ヲ徹底セシムルヲ要ス而シテ之ガ實施ニ當ル者ハ常ニ上級機關ノ方針ニ基キ狀況就中敵ノ素質及性情ヲ考慮シテ其ノ都度ノ目的ヲ明確ニシ之ニ應ジテ宣傳ノ重點、内容、之ヲ及ス範圍、時期、手段、方法、效果ノ判定、之ガ利用法等ヲ周到ニ計畫シ堅確ナル信念ヲ以テ之ヲ遂行スルヲ要ス

第二百九十一 直接作戰目的達成ノ補助手段タラシメントスル宣傳ニ在リテハ豫メ作戰ニ關スル高級指揮官ノ企圖ヲ知悉シ以テ宣傳ノ實施ヲシテ作戰ニ緊密ニ調和セシムルヲ要ス

第二百九十二 宣傳ノ實施ニ方リテハ其ノ重點ニ向ヒ我ガ全宣傳力ヲ巧ニ統合集中スルト共ニ狀況ノ推移ニ應ズル機宜ノ處置ヲ適切ナラシムルヲ要ス而シテ宣傳ノ重點ハ目的ニ依リ千差萬別ナリト雖モ敵ニ關スルモノニ在リテハ其ノ弱點ニ著意スルコト緊要ナリ

敵ノ弱點ヲ捉フル爲ニハ其ノ國家及社會組織、思想的傾向、戰爭ノ口實、戰闘ノ成績、軍隊ノ志氣、給養、各種民族ノ利害及爲政者ニ對スル感情、國民ノ風俗、習慣、宗教、日常生活特ニ其ノ缺陷、戰爭ニ對スル態度等ニ就キ十分ナル觀察ヲ遂グルヲ要ス

第二百九十三 宣傳ノ内容ハ常ニ條理一貫シ多衆ノ認識スル事實及被宣傳者ノ微妙ナル心理ニ適應スルコト緊要ナリ而シテ大衆ニ對シ迅速ニ效果ヲ收メントスル場合ニ於テハ宣傳ノ内容及其ノ表現法ハ簡明具體的ニシテ且煽情的ナルヲ要シ知性アル輿論ニ對シテ行ハントスル場合ニ於テハ内容豐富ニシテ理路整然且表現著實ナルヲ要ス

第二百九十四 宣傳ハ奏功迄ニ要スル時日ヲ考慮シ豫メ之ヲ行フ場合、事件ノ發生ニ伴ヒ之ヲ行フ場合、持續的效果ヲ收メンガ爲長期ニ互リ反復實施スル場合等アリト雖モ常ニ狀況ノ推移ヲ洞察シ機先ヲ制スル如ク實施ノ時機ヲ選定スルコト緊要ナリ何レノ場合ニ於テモ各種ノ手段ヲ盡クシ豫メ

宣傳奏功ノ素地ヲ醸成スルト共ニ所要ニ應ジ宣傳實施ノ好機ヲ作爲スルヲ要ス

第二百九十五 宣傳ノ手段及方法ハ狀況ニ依リ變轉極リナシト雖モ普通ノ場合ニ於テハ我方各種機關、中立國ノ通信及言論機關、戦地ノ官公吏及住民、敵側ノ俘虜等ヲ通ジテ新聞、冊子、「ビラ」、繪畫、寫眞、歌謠、活動寫眞、口演、口傳、放送等ヲ利用シ長短相補ヒ表裏相通ズル如ク公然或ハ隱密ニ之ヲ行フモノトス

何レノ場合ニ於テモ宣傳ハ我方爲ニセントスルガ如キ觀ヲ呈スルトキハ著シク其ノ效果ヲ減少ス

第二百九十六 正義ニ即スル我方信念及行動ヲ闡明スルト共ニ敵ノ非人道的行爲ヲ摘發シテ之ガ膺懲ノ必要ヲ明カナラシムルハ極メテ重要ニシテ有ユル機會ヲ捉ヘテ内外ニ宣傳シ之ガ徹底ヲ期スルヲ要ス

軍隊自ラ軍紀ヲ確立シ住民ニ對スル賞罰ヲ嚴正ニシ且其ノ利權ヲ尊重シ以

テ一般住民ヲシテ我が軍ヲ畏敬信賴スルニ至ラシムルハ各種宣傳奏功ノ爲
極メテ緊要ナリ

第二百九十七 我方作戰行動ニ關シ敵ヲ欺騙セントスル宣傳ハ高級指揮官
ノ周到ナル統制下ニ之ヲ行ヒ軍隊ノ陽動、偽裝其ノ他敵ノ當然察知スベキ
我が軍ノ狀況等ト良ク符合シ宣傳ノ内容、時期、方法、時トシテ介在スベ
キ小ナル矛盾等悉ク實際ニ在リ得ベキ要件ヲ具備セシムルヲ要ス

第二百九十八 宣傳ノ效果ハ絶エズ之ヲ觀察シ要スレバ其ノ不備ヲ補綴ス
ルト共ニ爾後行フベキ宣傳ヲ適切ニ連繫セシムルコト緊要ナリ
第二百九十九 戦地ヨリ發スル公私各種ノ通信ハ内外ノ輿論ニ多大ノ反響
ヲ與フルコトアルヲ以テ其ノ統制及取締ヲ適切ナラシムルヲ要ス

第二章 宣傳ノ防衛

第三百 敵ノ宣傳ヲ防衛スベキ根本要件ハ我が戦争ノ本義ヲ理解シ全軍ノ

宣傳ノ實施及防衛 宣傳ノ防衛

結束ヲ愈々堅實ニシテ忠勇義烈戰捷ノ一途ニ邁進スルト共ニ常ニ環境ニ注意シ苟モ敵ノ宣傳ニ乗ゼラルルノ隙ナカシムルニ在リ

第三百一 宣傳ハ敵ニ先ンゼラルルトキハ其ノ先入感ノ是正困難ナリ故ニ我が軍ニ對スル敵ノ宣傳ヲ豫想スルトキハ直チニ將兵ニ十分ナル理解ト自覺トヲ與ヘ又我が軍ニ關スル宣傳ヲ豫想スルトキハ之ニ先ンジテ反宣傳ヲ行フ等防衛ノ實施ハ勉メテ機ヲ制シ主動的ニ行フコト緊要ナリ

第三百二 敵ノ宣傳ニ對シテハ速カニ其ノ侵入ノ途ヲ精査シ適切ナル方法ニ依リ之ヲ遮斷スルヲ要ス之ガ爲作戰地及關係アル地方ニ於ケル各種思想團體其ノ他ノ結社、金融機關、通信機關等ニ深ク留意シ各種刊行物、郵便物、無線其ノ他ノ通信、繪畫、寫眞、機文等ノ點檢及取締並ニ各種秘密通信ノ搜查ヲ周到ナラシムルコト緊要ナリ此ノ際展、内地ヨリノ私信ヲ裝フ危險文書アルニ注意スルヲ要ス

第三百三 宣傳ニ關スル敵ノ企圖、宣傳ノ内容等ヲ詳細ニ探査シ常ニ之ガ

實況ヲ明カナラシメ又敵ノ宣傳ノ信憑スルニ足ラザル事實ヲ調査スルハ宣傳ノ防衛ヲ的確有效ナラシムル爲緊要ナリ
各種情報ヲ整理統合スルトキハ往々敵ノ宣傳企圖又ハ其ノ内容等ヲ判斷シ得ルモノトス

第三百四 敵ハ突然荒唐無稽ノ辛辣ナル宣傳ヲ行ヒ之ガ對策ヲ講ズルノ追ナカラシメ或ハ我方注意ヲ他ニ牽制シ又ハ頻時ノ對策ニ疲レシメ或ハ全ク隱密ナル方法ヲ長時日ニ互リ反復スル等各種ノ手段ヲ盡クシテ我方意表ニ出デenkoトニ勉ムベキヲ以テ之ガ對策ヲ誤ラザルヲ要ス

第三百五 流布セラレタル敵ノ宣傳ニ對シテハ其ノ虛偽ニ屬スル點ヲ摘發シ深刻ナル反駁ヲ加ヘテ之ヲ無効ニ終ラシメ或ハ其ノ宣傳材料ヲ巧ニ逆用シ却ツテ敵ノ弱點ヲ立證スル等臨機ノ對策ヲ適切ナラシムルヲ要ス
第三百六 敵ノ宣傳及我方對策ガ如何ナル效果ヲ呈シツツアリヤハ常ニ細心ノ注意ヲ以テ觀察シ機宜ノ處置ニ於テ缺クル所ナキヲ要ス一笑ニ附スル

ガ如キ敵ノ宣傳ト雖モ之ヲ執拗ニ反復セラルルトキハ不知不識ノ間ニ之ヲ信ズルコトアルニ注意スルヲ要ス

第三百七 我方軍以外ニ對シテ行ハルル敵ノ宣傳ニ關シテモ亦其ノ特質上深キ考慮ヲ要スルモノアリ就中我ト我方同盟國軍民トヲ離間シ或ハ我方軍背後ニ反軍思想ヲ扶植シ或ハ我方後方ノ住民ヲ使惑シテ騷擾ヲ惹起セシメントスル場合等ニ於テハ之ガ防衛ノ爲軍ハ關係諸機關ト協力シ必要ノ處置ヲ講ズルヲ要ス

6897

第九篇 陣中日誌及留守日誌

第三百八 陣中日誌及留守日誌作製ノ目的左ノ如シ

甲、各部隊若クハ各人ノ經歷及遭遇シタル實況並ニ所見ヲ記載シ戰史ノ資料ト爲ス

乙、編制裝備、教育、補給、給養、衛生、武器、彈藥、器材、器具、材料、燃料、化學戰資材、被服、裝具、馬等ニ關スル軍事ノ經驗ヲ錄シ將來改良ノ資料ト爲ス

第三百九 甲ノ目的達成ノ爲ニハ左記事項ニ就キ記載ス

一、毎日ノ位置分散シテ去リテ某地ニ停ル等ト記シ各地ニ

二、作爲セル命令、報告、通報中主要ナルモノ

三、行軍、宿營ニ關スル事項

四、戰闘ノ景況ノ關係並ニ連絡施設ノ狀態ヲ明確ナラシメ且緊要ナル時期ニ於

陣中日誌及留守日誌

一四一

1640

陣中日誌及留守日誌

一四二

ケル部隊ノ位置
要圖ヲ添附ス

五、人馬ノ異動及現員ノ概要

轉任 轉出入ノ實月 死傷 將校、各部將校、准士官ハ官職、氏名ヲ、下士官及兵ハ其
日ヲ記入ス テハ其ノ數ヲ又馬ハ所屬部隊ニ在リテハ官等、氏名ヲ、上級部隊ニ在リ

用役別、頭數ヲ錄ス 勳功者ノ事績等

六、主要ナル時期ニ於ケル部隊ノ編成表及將校、各部將校ノ職員表

七、宣傳ニ關スル事項

八、其ノ他一日間ニ於ケル緊要事項等

記載順序ハ前掲ノ順序ニ拘泥スルコトナク生起セル事實ノ經緯ヲ明瞭ナラ
シムルニ勉メ要スレバ要圖ヲ附シ時刻 時々日出時刻、日地點ヲ詳記ス又自己
ノ部隊ニ影響セル事項 氣象、明暗、地形、住民ノ狀態等ハ適宜附記ス又飛行部隊、氣球部
隊等ハ毎日ノ飛行記錄又ハ昇騰記錄ヲ添附ス
軍隊區分ニ依リ自己ノ指揮ニ入リタル他部隊ノ狀況ハ固有ノ部下部隊ニ準
ジテ記載シ一時指揮ヲ脱シタル固有ノ部下部隊ノ行動ハ要スレバ後日輯錄

シテ之ヲ補修ス

第三百十 乙ノ目的達成ノ爲ニハ左記事項ニ就キ記載ス

一、武器、彈藥、器材、器具、材料、燃料、化學戰資材、被服、裝具等ニ關スル事項

二、編制裝備及諸規則ノ作戰ニ及シタル影響

三、補給、給養及衛生ニ關スル事項

四、教育及軍紀ニ關スル事項

五、馬其ノ他軍用動物ニ關スル事項

六、非常ノ際取リタル處置等

記述ハ單ニ毎日ノ經驗ニ止ムルコトナク勉メテ某期間ノ經驗ヲ綜合シ其ノ判決ヲ明カナラシム

第三百十一 戰鬪詳報ヲ作爲セル場合ニ於テハ陣中日誌ト重複スル事項ノ記載ヲ省略スルコトヲ得然ルトキハ其ノ旨ヲ附記シ戰鬪詳報寫シ陣中日誌

陣中日誌及留守日誌

一四三

ニ合級ス

第三百十二 陣中日誌ハ左ノ各部隊ニ於テ作製ス

大本營ノ各部及各課

高等司令部(編制上部、課ニ區分スルモノハ各部、課)

聯隊、戰隊、大隊、中隊(之ニ準ズル部隊其ノ他中隊ヲ成サザル小隊、

長時日間獨立シテ行動スル小隊等ヲ含ム)

聯(大)隊ノ段列及材料廠

航空地區司令部、兵站地區司令部、野戰輸送司令部、野戰鐵道司令部、

鐵道監部、鐵道輸送司令部、停車場司令部、船舶輸送司令部、碇泊場

監部、碇泊場司令部、軍補給諸廠及此等ノ支部又ハ支廠

其ノ他ノ獨立部隊(編制上司令部、本部、班等ニ區分スルモノハ其ノ區

分毎)

師團及獨立シテ作戰スル部隊ノ前行李ヲ纏メテ行動セシムルトキハ其

1642

1643

ノ指揮官ニ於テ其ノ期間ニ限リ記述ス
留守部隊ニ在リテハ乙ノ目的ヲ達スル如ク概ネ前項ノ區分ニ從ヒ留守日誌
ヲ作製ス

第三百十三 陣中日誌及留守日誌ハ各部隊動員令受領ノ日若クハ之ニ準ズ
ル日ヨリ毎日記載ス而シテ特設部隊等ニ在リテハ先ヅ編成委員之ガ記載ヲ
始メ後之ヲ主任者ニ移スモノトス

陣中日誌及留守日誌ハ事件ノ生起スルニ從ヒ直チニ之ヲ記載スルヲ要ス日
誌記載ノ終局ハ各部隊復員完結若クハ之ニ準ズル日トス

第三百十四 受領セル命令、報告及通報竝ニ住民、間諜等ヨリ得タル情報、
死傷表、兵器、瓦斯防護資材及燃料損耗表等ハ其ノ要領ヲ摘ミ記事ノ後ニ
低書シテ參照ニ便ナラシム但シ各原本ハ種類毎ニ一括シテ保存ス
極秘ニ關スル計畫、特別任務等ニシテ當時之ヲ日誌ニ記載スルヲ不利トス
ルモノハ別冊トシ特別ノ取扱ヲ爲シ後日其ノ妨ナキニ至リ日誌ニ轉載ス

陣中日誌及留守日誌

一四五

第三百十五 各部隊長ハ適時陣中日誌・留守日誌ヲ點檢シ捺印又ハ署名ス
ルト共ニ時々部下部隊ノ日誌ヲ點檢シ要スレバ所見ヲ記入スルヲ要ス

第三百十六 陣中日誌ハ約一箇月毎戰國體裁ノ記述ノ退ナキトニ、留守日誌
ハ復員完結若クハ之ニ準ズル日以後速カニ順序ヲ經テ一部ヲ大本營（參謀
本部）ニ提出シ一部ヲ其ノ部隊ニ保管スルモノトス

第三百十七 陣中日誌及留守日誌ハ通常規格版紙ヲ用ヒ其ノ上部輪廓ノ
内側ニ約三糎ヲ隔テテ横線ヲ畫シ之ト上部輪廓トノ間ニ月日、氣象、宿營
地其ノ他記事中重要ナル事項ヲ摘記シテ見出ト爲シ横線ノ下方ニ記事ヲ記
載ス陣中日誌ノ用紙ハ時宜ニ依リ適宜ノ紙ヲ使用シ又炭酸紙等ヲ用ヒテ複
寫スルコトヲ得

作戰要務令 第三部 終

1645

昭和十五年三月十五日印刷
昭和十五年三月二十日發行

(作戦要務令奥附)

定價金拾八錢

東京市麴町區永田町一丁目四番地

小林 又 七

東京市麴町區永田町一丁目四番地

小林 又 七

東京市麴町區永田町一丁目四番地

小林 印刷所

印刷所

東京市麴町區永田町一丁目四番地

發行所

川流堂

小林 又 七

電話九段(33)〇〇四一
二九八五〇番
振替東京二九六番